

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年2月25日

九州運輸局

評価対象事業名: 確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大牟田市バス交通 対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 西鉄バス大牟田営業 所～黒崎団地	時刻表や公共交通マップの配 布、沿線住民へ利用状況説明 会の実施など利用促進に努め た。	A	C	継続して、鉄道との乗り継ぎに 考慮したダイヤの見直し、市報 やHP、チラシによる広報活動 を行い利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通 機関を利用するようになるという 生活習慣の変化を促す取組み を行うことも重要であり、自治 体・交通事業者・地域住民の役 割分担を明確化しつつ、地域一 体として公共交通の維持改善の ための利用促進を実施されるこ とが望ましい。	
大牟田市バス交通 対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 大牟田駅～黒崎団地	時刻表や公共交通マップの配 布、沿線住民へ利用状況説明 会の実施など利用促進に努め た。	A	C	継続して、鉄道との乗り継ぎに 考慮したダイヤの見直し、市報 やHP、チラシによる広報活動 を行い利用促進に努める。		
大牟田市バス交通 対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	米の山・黒崎団地線 黒崎団地系統 新栄町～黒崎団地	時刻表や公共交通マップの配 布、沿線住民へ利用状況説明 会の実施など利用促進に努め た。	A	C	継続して、鉄道との乗り継ぎに 考慮したダイヤの見直し、市報 やHP、チラシによる広報活動 を行い利用促進に努める。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 飯塚東地区	飯塚東地区内及び越 智外科胃腸科医院・ ハローディ柏の森店 への運行	<p>住民への周知活動(利用ガイド 全戸配布・広報誌への掲載等) を行うことで、住民に対する周知 については一定の効果は出て いる。 利用者を含めた住民からの要 望等についてはアンケート調査 や街頭での聞き取り調査を行 い、また、まちづくり協議会から の意見等を反映し、運行改善を 行っている。</p>	A	B	<p>①平成28年度版の利用ガイド を、高齢者等の利用者にわかり やすいように作成し、市民の理 解、周知に努める。</p> <p>②自治会単位の小規模説明会 等の開催を重ねることで市民の 理解を得られ、登録者が増加し てきた経緯があるが、今年度は あまり実施できなかったことも あり、登録者の伸び悩みがみら れたため、平成28年度におい ては、地元説明会等、市民への 周知活動の強化に取組み、利 用促進を図る。</p> <p>③市民要望を反映して、各デ マンド運行地区外の近接地に立 地施設への運行や利用可能時間 を拡充したことによって市民の 利用性を高める。</p>	<p>公共交通の利用促進に取り組 まれ、利用者が増加傾向にある ことは評価できる。引き続き利 用者ニーズを把握し運行データを 精査のうえ、次年度の目標を設 定していただきたい。</p>	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 庄内地区	庄内地区内及び筑豊 緑地(敷地内)・トライ アル上三緒店への運 行						
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 鎮西地区 (八木山地区以外)	鎮西地区(八木山地 区以外)内及び飯塚 市立病院・せき損セン ター(敷地内)・ミス ターマックス花瀬店へ の運行						
飯塚市地域公共交通協議会	(有)Shonai観光 筑穂地区	筑穂地区内及び済生 会病院への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	穂波タクシー(株) 穂波地区	穂波地区内及びJR筑 前大分駅への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	安全タクシー(株) 穎田・鯉田地区	穎田・鯉田地区内及 び筑豊緑地(敷地内) への運行						
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株) 鎮西地区 (主に八木山地区)	鎮西地区(主に八木 山地区)内及び飯塚 市立病院・せき損セン ター(敷地内)・ミス ターマックス花瀬店へ の運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
飯塚市地域公共交通協議会	総合交通(株) 二瀬地区	二瀬地区内及びせき 損センター(敷地内)・ イオン穂波店(敷地 内)への運行	住民への周知活動(利用ガイド 全戸配布・広報誌への掲載等) を行うことで、住民に対する周知 については一定の効果は出て いる。 利用者を含めた住民からの要 望等についてはアンケート調査 や街頭での聞き取り調査を行 い、また、まちづくり協議会か らの意見等を反映し、運行改善 を行っている。	A	B	①平成28年度版の利用ガイド を、高齢者等の利用者にわかり やすいように作成し、市民の理 解、周知に努める。 ②自治会単位の小規模説明会 等の開催を重ねることで市民の 理解を得られ、登録者が増加し てきた経緯があるが、今年度は あまり実施できなかったこともあ り、登録者の伸び悩みがみられ たため、平成28年度において は、地元説明会等、市民への周 知活動の強化に取組み、利用 促進を図る。 ③市民要望を反映して、各デマ ンド運行地区外の近接地に立地 施設への運行や利用可能時間 を拡充したことによって市民の 利用性を高める。	利用者の視点に立ち、公共交通 機関を利用するようになるという 生活習慣の変化を促す取組み を行うことも重要であり、自治 体・交通事業者・地域住民の役 割分担を明確化しつつ、地域一 体として公共交通の維持改善の ための利用促進を実施されるこ とが望ましい。	
飯塚市地域公共交通協議会	(有)幸袋タクシー 幸袋地区	幸袋地区内及びJR鯉 田駅・川食鯉田店・ハ ローディ九工大前店・ 鯉田病院への運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	坂谷・田川病院線A系統 坂谷～田川病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線A系統 上ノ山団地～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線B系統 上ノ山団地～後藤寺前駅の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	大浦・弓削田線C系統 後藤寺駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線A系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線B系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	伊加利・松原線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線A系統 山賊鍋～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線B系統 山賊鍋～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	鎮西・金川線C系統 伊田駅前～田川市立病院の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	B	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
田川市地域公共交通会議	田川構内自動車(株)	白鳥工業団地線A系統 後藤寺駅前～伊田駅前の運行	収支率の維持・向上を目標に、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。	A	A	コミュニティバス運行が定着するように、鉄道・バスとの乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ編成。広報紙等による利用促進。時刻表の配布。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和みなみ線	大和みなみ地域の運行	運行開始より徐々に利用者は増加傾向にあるが、目標値には及ばないため前回と同じ目標値とした。	A	B	利用者増に向け、地域の要望等によりルート、ダイヤ改正を進める。一方で1便あたり約120分かかるルートになっているため利用者の使いやすさが増すように、ルートの短縮・効率化にも取り組む。	目標値には届かなかつたものの、公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 大和きた線	大和きた地域の運行	運行開始より徐々に利用者は増加傾向にあるが、目標値には及ばないため前回と同じ目標値とした。	A	A	さらなる利用者増に向け、地域の要望等によりルート、ダイヤ改正を進める。一方で1便あたり約120分かかるルートになっているため利用者の使いやすさが増すように、ルートの短縮・効率化にも取り組む。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
柳川市地域公共交通協議会	柳川市 三橋線	三橋地域の運行	運行開始より徐々に利用者は増加傾向にあるが、目標値には及ばないため前回と同じ目標値とした。	A	C	使いやすさが増すようにルート・ダイヤ改正を進めるとともに、利用増進に向けた住民への周知を行っていく。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	(株)マルホタクシー 八女エリア	八女エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 上陽エリア	上陽エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 白木エリア	白木エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
八女市地域公共交通協議会	(株)マルホタクシー 辺春エリア 堀川バス(株) 辺春エリア(堀川系統)	辺春エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株) 矢部エリア	矢部エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	A	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
八女市地域公共交通協議会	堀川バス(株)、(有)川島タクシー、くろき交通、(有)八女観光バス 旧黒木町エリア	旧黒木町エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	B	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
八女市地域公共交通協議会	星野タクシー(有) 星野エリア	星野エリアの運行	利用状況は、近年横ばい、微減の傾向であることから、目標数値は、前年度実績と同程度の数値を設定した。	A	C	地域内に乗換え拠点を整備しスムーズな乗り継ぎ環境を整備することで利用者の増、維持を図りたい。また、新規利用者開拓のため、免許返納者への特典付与やお得な回数券の導入を検討する。あわせて、地域と連携した利用促進活動(高齢者向けの説明会の開催等)に取り組む。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー黒川線	○運行区間 黒川地区～久喜宮・志波地区経由～杷木地区	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(佐田コース)	○運行区間 佐田地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B	路線毎に沿線コミュニティ組織と事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、平成27年に策定した朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を図る。	一部系統については、公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	市(78条) →あいのりスクールバス高木地域(黒川コース)	○運行区間 黒川地区～矢野竹経由～十文字	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B			現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によってはシステムの運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー馬田線	○運行区間 馬田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。 利便性を向上させるため、平成27年4月よりコースの一部変更、経費削減の一環として運行車両の変更を行った。	A	A	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成(平成27年度からの実施事業である出前講座等) ・運行様態の改善の検討(運行コース、時間帯、便数、運行日等の改善) ・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報、計画推進事業を活用したパンフレット等)	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのりタクシー福城線	○運行区間 蜷城地区～福田地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B	・車から公共交通への利用を促す取り組み(モビリティマネジメント)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	ひまわりタクシー(4条) →あいのりタクシー杷木東部線	○運行区間 松末地区～杷木地域中心部、杷木地区内	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条)[平成27年4月まで] 矢野タクシー(4条)[平成27年4月から] →あいのリタクシー長瀬線	○運行区間 大福地区～金川地区 ～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	A			
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条)[平成27年4月まで] 矢野タクシー(4条)[平成27年4月から] →あいのリタクシー上秋月・安川線	○運行区間 上秋月地区～安川地区 ～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。 利便性を向上させるため、平成27年4月よりコースの一部変更を行った。	A	A	路線毎に沿線コミュニティ組織と事業者、市(行政)の三者が一体となって利用者推移を注視しながら、目標値達成のために、平成27年に策定した朝倉市地域公共交通網形成計画の施策でもある以下の取組(事業改善)を図る。	一部系統については、公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。 現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	矢野タクシー(4条) →朝倉地域コミュニティバス	○運行区間 朝倉・宮野・大庭・福成地区～朝倉地域中心部	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B	・コミュニティバス運行に関する認知度の向上及び住民意識の醸成(平成27年度からの実施事業である出前講座等) ・運行様態の改善の検討(運行コース、時間帯、便数、運行日等の改善)		
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのリタクシー矢野竹線	○運行区間 矢野竹～十文字～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。 利便性を向上させるため、平成27年4月よりコースの一部変更を行った。	A	B	・多様な媒体を活用した広報活動(HP、市報、計画推進事業を活用したパンフレット等) ・車から公共交通への利用を促す取り組み(モビリティマネジメント)	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
朝倉市地域公共交通活性化協議会	甘木観光バス(4条) →あいのリタクシー美奈宜の杜線	○運行区間 矢野竹～美奈宜の杜地区～甘木市街地	利用者増に向けた、沿線コミュニティへの定期的な利用状況の報告及び広報活動、また制度の周知、定着に向け沿線地区へパンフレットの全戸配布等を行った。	A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(白糸線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、天神、博多行き高速バス「いと・しま号」との接続改善のためダイヤ改正を行った。	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(雷山線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線波多江経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、JRとの接続改善のためのダイヤ改正を行った。	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(曾根線有田経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(井原山線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	B	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(川原線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。	A	A	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(前原今宿線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	A	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線波多江経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、九大理学部の伊都キャンパスへの移転に合わせ、バス停の新設とダイヤ改正を実施した。九州大学との共同研究も行い、九大線のダイヤ最適化に取り組んでいる	A	A	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(九大線泊・油比経由)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、九大理学部の伊都キャンパスへの移転に合わせ、バス停の新設とダイヤ改正を実施した。九州大学との共同研究も行い、九大線のダイヤ最適化に取り組んでいる	A	A	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(初深江線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	A	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
糸島市コミュニティバス協議会	昭和自動車株式会社	コミュニティバスの運行(市街地循環線)	広報やイベントを利用した200円定額運賃の周知やバス利用促進を行った。また、小学生対象のバスの乗り方教室を実施し、小学生時から公共交通に親しんでもらう取り組みを実施した。	A	C	コミュニティバス路線全体として、利便性の向上や利用者への情報提供を充実させる。沿線住民への利用啓発、ダイヤなどの見直しも必要に応じて実施する。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	通勤かわせみ西畑線	<p>○利用者等の意見・要望等を把握するため、平成25年度に調査事業を活用して、かわせみバス利用者に対する調査、町民アンケート調査、交通事業者へのヒアリング等を実施した。</p> <p>○上記調査結果を踏まえ、平成26年度に地域公共交通活性化協議会及び下部組織の交通体系検討分科会において新たな交通体系の検討を行い、平成27年4月から新たな交通体系で運行開始した。</p>	A	C	<p>○平成27年4月より、新たな交通体系で運行を開始したが、運行を拡大して増えた利用者数の目標に到達することができなかった。また、収支率についても、大幅に増加した経費に対して、収入を増加することができなかった。</p> <p>○新たな体系で運行を開始したことから、地域の行政区長と協力し、住民に対するバス利用に関する効果的な啓発方法についても検討を行い、新たな交通体系の定着及び利用促進を図っていく。</p>	<p>現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。</p> <p>利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。</p>	
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ西畑線		A	C			
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ埋金線		A	C			
那珂川町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス二日市(株)	かわせみ南畑線		A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
須恵町地域公共交通活性化協議会	須恵町	全5路線のうち、2路線(佐谷～上須恵線、乙植木～須恵線)を交通不便地域の指定を受け確保維持事業を申請	モニタリングを行い、バス利用者の動向を把握するとともに、主要施設(新規店舗含む)利用者の公共交通利用ニーズ調査を実施。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増が進んでいることもあ「都市計画ビジョン」検証に合わせ公共交通を検証する必要がある(路線変更、ダイヤ見直しも含め)。 ・子育て世代サポートとして幼稚園の送迎えや小学校までのアクセス向上などの対応を再検討。 ・全ての住民・さらなる利用促進に向けた情報発信。 ・運賃以外の事業収入の確保による持続的運行の実現。 ・近隣町施設アクセス要望への対応検討 	<p>現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。</p> <p>利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
久山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス宗像(株) レスポアール～(久原 循環)～レスポアール ～(山田循環)～レス ポアール	<p><久原循環> レスポアール～上久 原～東久原～役場～ 下久原～レスポアール の運行</p> <p><山田循環> レスポアール～上山 田南～猪野～草場～ 大谷～下山田～古賀 橋トリアス前～上山 田南～レスポアールの 運行</p>	<p>イコバスの利用状況について は、平日はある程度一定水準で 利用維持されたまま推移してい るが、休日では利用が減少傾向 にある。そのため、商業施設へ の乗り入れなど、利用促進策に 取り組んでいる。</p> <p>また、満足度については、高い 数字をいただいているので、引 き続きその状態を維持できるよ うに努める。</p>	A	B	<p>・平成26年11月中旬に、トリアス 内へのイコバスの乗入れを行っ て、利用者が伸びているが、引 き続き大型商業施設との協議・ 連携に基づき利用促進策を図る とともに、今後も継続的なモニタ リングにより動向を見守る必要 がある。</p> <p>・西鉄27Bのフィーダーとしての イコバスの機能向上を含めた町 内交通体系の再検討を行う。</p> <p>・町内の宅地開発・幼稚園の新 設等に対応したルート・ダイヤの 見直し、運行台数の増加等を検 討する。</p>	<p>公共交通の利用促進に取り組 まれ、概ね目標を達成されたこ とは評価できる。引き続き利用 者ニーズを把握し運行データを 精査のうえ、次年度の目標を設 定していただきたい。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岡垣町地域公共交通協議会	西鉄バス宗像(株)	[2路線11系統運行] 糠塚・元松原循環線 [7系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [4系統(内、共同運行1系統)]	目標 運行コスト(収入控除後)を1km当り100円以内とする。 H26、27事業年度共に未達成。	A	C	H27年度には、H25年度実施したバス全便における乗降調査のデータを基に、第3次の公共交通体系整備計画(地域公共交通網形成計画(再編計画))の策定に取組み、H29事業年度の実施を目指す。 目標には利便性向上と乗車率の改善を置き、結果として経費負担の軽減にもつながるよう運行計画の見直しを進める。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
岡垣町地域公共交通協議会	(株)西部遠賀交通	[4路線13系統運行] 高陽団地循環線 [6系統] 上畑・上高倉循環線 [3系統] 糠塚・元松原循環線 [3系統(内、共同運行2系統)] 戸切循環線 [1系統(内、共同運行1系統)]	目標 運行コスト(収入控除後)を1km当り100円以内とする。 H26事業年度は1系統で達成。 H27事業年度は未達成。	A	C	H27年度には、H25年度実施したバス全便における乗降調査のデータを基に、第3次の公共交通体系整備計画(地域公共交通網形成計画(再編計画))の策定に取組み、H29事業年度の実施を目指す。 目標には利便性向上と乗車率の改善を置き、結果として経費負担の軽減にもつながるよう運行計画の見直しを進める。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 田園・松の本快速線	遠賀川駅～松の本～ 遠賀川駅	<p>前回平成26年度の事業評価において目標値(収支率37%)には、0.1%及びませんでした。収支率を改善し、事業の最終目標値50%を達成するため、地域間交通との接点であるJR遠賀川駅へのアクセス面を重要視し、快速線の一部時刻表の改正を実施し、利便性の向上をはかり、利用者、運賃収入の増加を目指しました。</p>	A	B	<p>今後も、バスの修理費が高むことが予想されますが、安全運行のため、車両のメンテナンスは十分に行いつつ、収入面においては、平成27年10月の路線改正後の利用者状況の分析やアンケート調査による利用者のニーズの把握、コミバスを地域住民の身近な足と感じていただくような試乗体験や広報活動を通じ、利用者の拡大を図り、運賃収入を確保することが必要とされています。</p>	<p>公共交通の利用促進に取り組み、運行収入の増加を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。 また、バス車両の老朽化による車両維持費等の増加が収支率目標の障害となっているとのことだが、安全な運行の確保は公共交通にとって最も重要であることから、収支率を目標値とする場合、車両に係る経費を除いた収支率を目標値とすることや、目標自体を走行キロ当たり利用者数・平均乗車密度などの収支率以外の目標とすることなど、地域にとって適正な目標値とは何かという検討も併せて行っていただきたい。</p> <p>利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。</p>	
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 虫生津・上別府快速線	遠賀川駅～蓮角～遠賀川駅						
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 田園・松の本線	遠賀川駅～松の本～遠賀川駅						
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 虫生津・浅木線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅						
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 島津・尾崎線	遠賀川駅～尾崎～遠賀川駅						
遠賀町地域公共交通会議	遠賀町 老良・広渡線	遠賀川駅～ふれあいの里～遠賀川駅						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	泉水線(グローバルアリーナ～くらじの郷～鞍手駅)	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	利用者の増加を図るため広報等の周知を強化するとともに、定期券等新たな料金体制や利用促進施策の検討などを行い改善する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	泉水線(グローバルアリーナ～鞍手町役場～鞍手駅)	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	利用者の増加を図るため広報等の周知を強化するとともに、定期券等新たな料金体制や利用促進施策の検討などを行い改善する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	倉坂線(古門栄町～くらじの郷～鞍手駅)	計画通り事業は適切に実施された。	A	C	1日当たりの便数を往路・復路とも2便増やしたが、利用者数が伸びていない。時刻設定の見直し、定期券等新たな料金体制の検討、利用促進施策の検討などを行ない改善する。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
鞍手町地域公共交通会議	西鉄バス筑豊株式会社	倉坂線(古門栄町～鞍手町役場～鞍手駅)	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	利用者の増加を図るため広報等の周知を強化するとともに、定期券等新たな料金体制や利用促進施策の検討などを行い改善する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	長谷線(長谷観音～鞍手駅)	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	利用者の増加を図るため広報等の周知を強化するとともに、できるかぎり直前まで予約を可能にできないかなど、より利用しやすい仕組みを検討する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鞍手町地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上木月線(古門～くらじの郷)	計画通り事業は適切に実施された。	A	A	利用者の増加を図るため広報等の周知を強化するとともに、できるかぎり直前まで予約を可能にできないかなど、より利用しやすい仕組みを検討する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	安宅コースの運行	バス時刻表の新規作成や、看板の付け替え等を行い、利用しやすい環境づくりにつとめた。また、運行の安全確保の為、運転手の健康診断等を行った。	A	B	利用人数が減少傾向にあるため、町内施設の移動の際のバス利用の促進活動や運行ルートの見直し等利用環境の向上にも努める。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	木城・荒平コースの運行	バス時刻表の新規作成や、看板の付け替え等を行い、利用しやすい環境づくりにつとめた。また、運行の安全確保の為、運転手の健康診断等を行った。	A	B	利用人数が減少傾向にあるため、町内施設の移動の際のバス利用の促進活動や運行ルートの見直し等利用環境の向上にも努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	上真崎・永井コースの運行	バス時刻表の新規作成や、看板の付け替え等を行い、利用しやすい環境づくりにつとめた。また、運行の安全確保の為、運転手の健康診断等を行った。	A	B	利用人数が減少傾向にあるため、町内施設の移動の際のバス利用の促進活動や運行ルートの見直し等利用環境の向上にも努める。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	池尻・田原コースの運行	バス時刻表の新規作成や、看板の付け替え等を行い、利用しやすい環境づくりにつとめた。また、運行の安全確保の為、運転手の健康診断等を行った。	A	A	利用人数が減少傾向にあるため、町内施設の移動の際のバス利用の促進活動や運行ルートの見直し等利用環境の向上にも努める。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
川崎町地域公共交通会議	川崎町	三井・大峰コースの運行	バス時刻表の新規作成や、看板の付け替え等を行い、利用しやすい環境づくりにつとめた。また、運行の安全確保の為、運転手の健康診断等を行った。	A	A	利用人数が減少傾向にあるため、町内施設の移動の際のバス利用の促進活動や運行ルートの見直し等利用環境の向上にも努める。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
芦屋町地域公共交通協議会	芦屋町地域公共交通会議	芦屋タウンバス はまゆう・遠賀川駅線	現行を維持確保するため、町の広報誌等で利用(経営)状況を掲載し、利用促進を図った。JRダイヤ改正に合わせて、ダイヤを改正(微調整)を行なった。	A	B	現行の年間利用者数を確保しながら事業の維持を図る	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
広川町地域公共交通協議会	(有)蒲池自動車	上広川地区 中広川地区 下広川地区 の運行	利用者増を図るため、地域毎に利用促進に向けた説明会を実施、また、福祉課との協働により個別説明会を実施した。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
広川町地域公共交通協議会	堀川バス(株)	上広川地区 中広川地区 下広川地区 の運行	利用者増を図るため、地域毎に利用促進に向けた説明会を実施、また、福祉課との協働により個別説明会を実施した。	A	A	利用状況の把握、利用者の意見聴取を行い、利用促進に向けた取組を実施する。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	上頓野線(直方駅～湯野原～竜王峡)の運行		A	B	路線変更について、引き続き広報を行っていく。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー株式会社	鴨生田団地線(直方駅～鴨生田団地～グァーグァー市場)の運行		A	A	路線変更による一定の改善は見られたため、引き続き広報を行っていく。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社	武谷線(直方駅～溝堀～ゴルフ場)の運行		A	B	路線変更による一定の改善は見られたため、引き続き広報を行っていく。		
直方市地域公共交通会議	筑豊タクシー株式会社 直方タクシー有限公司	植木線(直方駅～下新入～下町公民館)の運行		A	B	新規に導入した路線であるため、引き続き広報を行っていくとともに、バス停の新設やルート変更についても調整を行う。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
直方市地域公共交通会議	MGタクシー株式会社 有限会社 スタータクシー	感田線(直方駅～東和苑北～湯野原)の運行		A	B	新規に導入した路線であるため、引き続き広報を行っていくとともに、バス停の新設やルート変更についても検討する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐賀市地域公共交通会議	有限会社松原タクシー	大和町松梅地区におけるデマンドタクシーの運行	地元協議会で、改善点について協議、検討を行った。(平成27年10月から反映)	A	A	平成27年10月に実施した改善点の効果の推移を注視する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	佐賀市	富士町におけるコミュニティバスの運行		A	A	車両が老朽化しているため、安心安全な運行のため、早期に車両の更新を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株)	弥生が丘循環線 鳥栖駅前～弥生が丘駅～鳥栖駅前	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	(株)鳥栖構内タクシー	鳥栖地区循環線 フレスポ鳥栖～鳥栖まちづくり推進センター南～フレスポ鳥栖		A	A		公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		田代地区循環線 フレスポ鳥栖～くすり博物館～フレスポ鳥栖		A	B		丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
鳥栖市地域公共交通活性化協議会	(株)鳥栖構内タクシー 久留米西鉄タクシー(株)	基里地区循環線 フレスポ鳥栖～日恵寺公民館～フレスポ鳥栖	利用促進のため、バスマップの配布及びバスの日イベント等を実施し、運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)に努めた。	A	A	今後も引き続き利用促進に向けた、沿線住民等への運行の基礎的な情報の提供(ルート及びダイヤなど)を行っていく必要がある。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		旭地区循環線 マックスバリュ鳥栖村田店～下野公民館～マックスバリュ鳥栖村田店		A	B		公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊万里市民と考える地域交通会議	西肥自動車(株)	いまりんバス郊外線 牧島～立花線 脇田～古賀線 屋敷野～南ヶ丘線 ※各線(コース)週2日、1日4回(循環)運行	<ul style="list-style-type: none"> ・路線の見直し等を見据え、伊万里市地域公共交通網形成計画の作成に取り組んでいる。 ・利用促進を図るため、バスの乗り方教室を開催した。 ・市広報にて、いまりんバスの特集を掲載し、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の実績を踏まえ、適切な目標値を設定するとともに、目標をクリアするよう上記事項に取り組む。 ①1便あたりの利用者目標5名。 ②収支率を11%以上。 ・平成27年度中に伊万里市地域公共交通網形成計画の策定を行い、路線の見直し等の指針を定める。 	丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿島市地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株)	循環バスの運行	車両のラッピングをするなど 周知に努めた。	A	A	運行の検証による運行内容 の変更(増便など)	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者が増加傾向 にあることは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	
	(有)再耕庵タクシー	高津原のりあいタク シーの運行	運行方法の見直しを行った。	A	B	運行の検証と利用者の確保 (新規利用者の確保)、運行 内容の変更	丁寧且つ効果的な周知や広 報活動と併せて、運行デー タの分析や利用者の声・要望 等を精査のうえ運行計画の 策定を行うことが肝要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城市	小城町の晴田地区内における巡回バスの運行	・総合病院の市内移転に伴い、要望の多かった病院移転先へのバス停設置を行い、晴田線、岩松線、三里線のすべての便においてを乗り入れを開始した。	A	A	特に満足度が低かった、小城市巡回バスの運行時刻の見直し(短縮)を進めるため、利用の少ないバス停の廃止やルート見直し等を行い、利用者の利便性の向上と共に不満解消へ務める。 また、利用者へのアンケートを引き続き実施し、利用者の生の声を聴き、より利便性を高めていくことはもちろんのこと、今は利用していないが、将来的に利用するかもしれない潜在的な利用者の意見を拾い上げ(アンケートの実施)を行い、現在利用していない人がなぜ利用していないかなども総合的に考え、地域のニーズに応じた最適な運行形態やコース、時間設定等を検討し、市民に愛されるバスを目指す。 さらには、各種会合での説明や出前講座など幅広い広報活動に取り組み、利用促進を図っていく。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		小城町の岩松地区内における巡回バスの運行		A	A			
		小城町の三里地区内における巡回バスの運行	・巡回バスの更なる周知広報のため、時刻表の全戸配布を行った。	A	A			
		三日月町の北部地区及び小城町の一部における巡回バスの運行	・総合病院の市内移転に伴い、要望の多かった病院移転先へのバス停設置を行い、北回りコースのすべての便においてを乗り入れを開始した。	A	A			
		三日月町の南部地区における巡回バスの運行	・巡回バスの更なる周知広報のため、時刻表の全戸配布を行った。	A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小城市地域公共交通活性化協議会	小城タクシー(株)	牛津町の勝・柿樋瀬地区における巡回バスの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・以前より要望があった、勝・柿樋瀬線、砥川線の最終便におけるの逆回りコースの実施及び地域内のドラッグストアへのバス停設置を行い、更なる利便性の向上を図った。 ・巡回バスの更なる周知広報のため、時刻表の全戸配布を行った。 ・循環バスの更なる周知広報のため、時刻表の全戸配布を行った。 ・時刻表の全戸配布及び出前講座などを行い、利用促進と新たな需要の掘り起こし等を行った。 ・総合病院の市内移転に伴い、要望の多かった病院移転先へのバス停設置を行い、乗り入れを開始した。 ・利用促進のためチラシの配布等を行った。 	A	A	<p>特に満足度が低かった、小城町巡回バスの運行時刻の見直し(短縮)を進めるため、利用の少ないバス停の廃止やルート見直し等を行い、利用者の利便性の向上と共に不満解消へ務める。</p> <p>また、利用者へのアンケートを引き続き実施し、利用者の生の声を聴き、より利便性を高めていくことはもちろんのこと、今は利用していないが、将来的に利用するかもしれない潜在的な利用者の意見を拾い上げ(アンケートの実施)を行い、現在利用していない人がなぜ利用していないかなども総合的に考え、地域のニーズに応じた最適な運行形態やコース、時間設定等を検討し、市民に愛されるバスを目指す。</p> <p>さらには、各種会合での説明や出前講座など幅広い広報活動に取り組み、利用促進を図っていく。</p>	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		牛津町の砥川地区における巡回バスの運行		A	A			
		牛津町为天満町地区及び芦刈町の一部(北部)における巡回バスの運行		A	A			
		市内の主要公共施設等を回る循環バスの運行		A	A			
		あしま～る線 芦刈町の南部地区における乗合タクシーの運行		A	A			
		やまびこ線 小城町巡回バスの運行エリアではない中山間地区における乗合タクシーの運行		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
嬉野市地域公共交通活性化協議会	温泉タクシー(株)	(春日線)大野～嬉野医療センター (大野原線)平重～体育館前	<p>利用者の99%を占める「吉田地区(春日地区含む)地域コミュニティ組織」及び「轟・大野原地区地域コミュニティ組織」の会議・イベントに出向き、沿線住民の認知度合いを図ると同時に、意見聴取や利用促進に向けた啓発を行った。</p> <p>また市広報誌やホームページに、乗合タクシーの現状、利用者の声および時刻表等を掲載し、市民や観光客向けに積極的なPRを行った。その結果、「春日線」については利用者がH26比で15人増加し収支改善に繋がった。今後も地道な啓発活動等を行い理解を深め積極的な利用促進を図りたい。</p>	A	B	<p>(春日線) 利用状況・収支状況とも近年伸びており、H26よりも改善できた。また、目標も大きく上回ることができ、今後も更なる改善が期待できる。</p> <p>(大野原線) 近年、利用状況・収支状況とも一進一退の状態が続いており、結果として改善には至っていない。また、起点の平重からの利用者がある為、収支率を改善するという観点だけの路線短縮も容易ではない。今後は系統変更も視野に入れながら検討を図っていきたい。</p> <p>(全体) 吉田地区(春日地区含む)および大野原地区の地域コミュニティ組織と一体となった利用促進を図ると同時に、広報誌やホームページ等を通じて、より積極的に市民や観光客等へ情報発信を行っていく。</p>	<p>(春日線) 公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。</p> <p>(大野原線) 丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
神崎市地域公共交通活性化協議会	(有)神埼タクシー	(1)神埼北コース 神埼駅を起終点とし三谷等を経由する 31.1km	巡回バスに対する認知度は、ほぼ100.％と高い数値となった。この結果を踏まえ、更なる利用促進を図るために路線図及び時刻表を作成し、全世帯への配布を行うとともに、利用希望者への乗継ぎ方法や利用にあたっての紹介を行い利用促進を図った。	A	A	バス利用者へのアンケートや地区説明会等で住民の意見・要望を踏まえ、より利便性の高いバスの実現につなげる。また、より身近な公共交通機関となるよう、モデルコース紹介などを実施していく、利用促進を図っていく。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		(2)神埼南コース 神埼駅を起終点とし協和町等を経由する21.8km		A	B		当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。	
	(3)千代田東コース 神埼駅を起終点とし古賀内科等を経由する 35.7km	A		B	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある			
	(4)千代田西コース 神埼駅を起終点とし仁戸田等を経由する 27.6km	A		B	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやき町地域公共交通確保維持改善協議会	西鉄バス佐賀(株)	<p><みやき中央線> 大島病院～斎藤整形外科の運行</p> <p><三根東線> 斎藤整形外科～三根庁舎前の運行</p> <p><三根西線> 三根庁舎前～斎藤整形外科の運行</p> <p><中原線> 中原庁舎前～大島病院の運行</p> <p><北茂安線> みやき庁舎～大島病院の運行</p>	運行ルートの延伸及びバス停の追加設置を実施し、地域の要望に沿ったものに改善し、利用者の利便性の向上を図った。	A	B	<p>全線共に利用者は増加しているが、三根西線の利用者の伸びが少なく、重点的にPR等を行い利用促進策を図る一方で、バス停の廃止やルートの変更等についても継続して見直しを行う。</p> <p>また、ポケットサイズの公共交通マップを作成し、各公共施設及び利用者に配布を行い、より一層情報提供にも注力し、利用促進に寄与する利用者への情報提供のあり方を継続的に検討する。</p>	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
基山町地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀株	基山駅～けやき台 ～高島団地～老人 憩の家～基山駅系 統	利用者数の目標値を前回の 1.1倍である80人(1日平均)、 利用者満足度数を平均7点 (10点満点)と設定した。	A	B	将来にわたって持続可能な 地域公共交通にするため、 安定した利用者の確保に向 けた利用促進の取組みを継 続する。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある	
		基山駅～けやき台 ～高島団地～基山 駅系統		A	B			
		園部線通学系統		A	B			
		園部線系統		A	B			
		宮浦線系統		A	B			
		本桜線系統		A	B			
		中心部巡回系統		A	B			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	多久市	東多久立山線 (東多久～立山)の 運行	平成26年度に実施した、モニタリング調査結果に基づき、協議会において適切な路線、ダイヤへの見直しの協議を行った	A	A	平成27年10月1日より、協議会での協議結果に基づく路線、ダイヤの改正を実施した。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
		東多久立山線 (立山～東多久)の 運行		A	A			
		西多久納所線 (西多久～納所)の 運行		A	A			
		西多久納所線 (納所～西多久)の 運行		A	B			丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
多久市地域公共交通確保維持改善協議会	昭和自動車(株)	南多久岸川線 (岸川～南多久)の 運行	平成26年度に実施した、モニタリング調査結果に基づき、協議会において運行区域、運行曜日、利用対象者等の見直しの協議を行った	A	B	平成27年10月1日より、協議会での協議結果に基づく運行区域の一本化、運行曜日の拡大、利用対象者の拡大などの改善を実施した。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある	
		南多久岸川線 (南多久～岸川)の 運行		A	B			
		東多久町の一部の 運行 (多久デマンドタクシー東エリア)		A	C		丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等の精査を行うことも必要。 あわせて、路線の維持が必要かどうかの見極めを慎重に行うことも必要。	
		南多久町の一部の 運行 (多久デマンドタクシー南エリア)		A	A		公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		西多久町・多久町の一部の 運行 (多久デマンドタクシー西エリア)		A	A			
		北多久町・多久町の一部の 運行 (多久デマンドタクシー北エリア)		A	C		丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等の精査を行うことも必要。 あわせて、路線の維持が必要かどうかの見極めを慎重に行うことも必要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果		
唐津地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株)	呼子～名護屋浜・ 名護屋城～波戸岬 国民宿舎系統の運行	調査事業の調査結果を慎重 且つ丁寧に精査し、唐津地 域公共交通網形成計画を基 に、全体的な路線再編を計 画中。	A	B	唐津地域公共交通網形成計 画を基に、全体的な路線再 編を行い効率的な運行を目 指す。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある		
		呼子～呼子大橋～ 加部島杉村系統の 運行		A	B				
		呼子～呼子ロッジ 前～呼子台場みな とプラザ系統の運 行		A	B				
		入野～伊仲・里～ 星賀系統の運行		A	B				
		入野～山口～納所 系統の運行		A	C			丁寧且つ効果的な周知や広報 活動と併せて、運行データの分 析や利用者の声・要望等の精査 を行うことも必要。 あわせて、路線の維持が必要か どうかの見極めを慎重に行うこ とも必要。	
		入野～古保志気～ 高串福祉センター 前系統の運行		A	C				

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
有田町地域公共交通会議	(有)有田タクシー 西肥亀の井タクシー(株)	有田町大山地区における区域運行(役場コース) 登録者住宅～有田町役場等間を1日6便運行		A	A	高齢化が進行する中山間地域での事業であるが、地域の活力の維持向上のためには移動手段の確保が必要である。制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		有田町大山地区における区域運行(共立病院コース) 登録者住宅～伊万里有田共立病院等間を1日6便運行		A	C	制度定着に向けて広報、周知に取り組み、利用促進を図るとともに、コミュニティバスとの乗り継ぎにおける障害を解消する。	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	西海町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	琴海村松町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	琴海戸根・琴海戸根原町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	A	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	長浦町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	琴海形上町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
長崎市地域公共交通会議	(有)琴海タクシー	琴海尾戸・大平町地内の運行	自治会回覧を活用し、運行内容の周知を図るとともに、自治会長との意見交換等により、地域の意見や要望の収集等に努めた。	A	B	運行内容の周知徹底を行い、積極的な事業の活用と1便あたりの乗合人数の増加を目指すとともに、地域の需要や実態に応じた運行内容を検討する。	丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐世保市地域公共交通会議	西肥自動車株式会社	才牟田線 岩下洞穴・瀬戸越 団地線	<p>地元住民代表・行政・交通事業者による「交通対策協議会」では、沿線町内会を通じたPR活動を行い、利用促進に努めた。</p> <p>また、地域からの要望を受け、現地の調査等をしながら、路線延長やダイヤ見直しなど利便性向上に向けた検討作業をおこなった。</p>	A	A	<p>更なる利便性向上のため、平成28年4月に、路線延長や利用の少ない便の削減など、ダイヤ改正を実施することとしている。</p>	<p>公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 今村線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 野岳湖線	事業評価結果を反映することができた。	A	B	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (野岳入口)	事業評価結果を反映することができなかった。	A	B	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合せたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 富の原・協和町線 (黒丸入口)	事業評価結果を反映することができなかった。	A	A	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合せたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 南部循環線	事業評価結果を反映することができた。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 小路口・諏訪線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	A	今後も路線のPRを継続し、利用者の動向に合せたダイヤ設定を行うこととする。その状況を見ながら、今後の目標数値の設定についても検討を行うこととする。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大村市地域公共交通会議	長崎県交通局	地域内フィーダー系統(乗合バス型運行) 黒木線	事業評価結果を反映することができなかった。	A	A	目標達成に向け、引き続き住民の移動手段の確保に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
対馬市地域公共交通活性化協議会	事業者名 厳原タクシー(有) 北厳原タクシー(有) 対州タクシー(有) ホテル対馬(株) 系統名 椎根・厳原線	椎根～厳原間予約 制乗合タクシーの 運行	前回評価時においては、1便あたりの利用者2.5人、収支率25.1%であり、住民サービス向上と収支率向上を図るため、料金の改定についても検討していくということであったが、平成27年5月より従来の定額フリーパス(5,000円/月)に加え、1日フリーパス(1,000円)の導入を実施した。	A	C	1便あたりの利用者数の増加を図るため、トンネル新設に伴うルート変更を検討し所要時間短縮による利便性の向上を図る等、更なる住民サービス向上に努め、また、収支率の向上を図るため、フリーパスの利用状況の分析、料金の改定についての検討を行う。	・丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等の精査を行い、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
新上五島町交通ネットワーク促進会議	西肥自動車株式会社	有川～浜串間の運行	分かりやすい公共交通マップの作成とニューズレターによる利用促進を図った。	A	A	地域の実情の把握により利用しやすい環境の整備。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
新上五島町交通ネットワーク促進会議	西肥自動車株式会社	江の浜～有川間の運行	分かりやすい公共交通マップの作成とニューズレターによる利用促進を図った。	A	A	地域の実情の把握により利用しやすい環境の整備。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
新上五島町交通ネットワーク促進会議	西肥自動車株式会社	神之浦～有川の運行	分かりやすい公共交通マップの作成とニューズレターによる利用促進を図った。	A	A	地域の実情の把握により利用しやすい環境の整備。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
五島市地域公共交通会議	松本 勝久(久賀タクシー)	五島市久賀島内27系統運行	—	A	B	利用者数拡大を目指し、地域町内会と連携し利用促進や路線の見直しに取り組む。	・丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	
五島市地域公共交通会議	丸濱産業有限会社 奈留交通有限会社	五島市奈留島内5系統運行	利用者からの要望を踏まえ、利便性の向上を図るために奈留地区生活交通検討委員会を開催して協議を行い、バス停位置の変更を行った。	A	B	奈留島地区生活交通検討委員会と連携し、利用促進活動に取り組む。	・丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
島原市地域公共交通会議	島原鉄道株式会社	本市北部に位置する有明地区を唯一運行している「水分畜産線」の維持・確保を図る。	機会を捉え、運行情報の周知やマイカーから公共交通機関利用への転換を促す広報活動を行った。	A	B	新たな利用者の確保のため、系統の運行情報の周知やマイカー利用からのバス利用への転換を促す取り組みが必要である。実態にあった目標設定を行う。	・丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	阿翁浦線乗合タクシーの運行	—	A	B	利用状況の分析から、運行便数についても精査を行い、適切な目標値を設定していく。認知度を上げるための広報を行い、ターゲットを絞った周知や見やすい時刻表の作成など、固定化した利用層の幅を広げるための取り組みを行い利用者の増加に繋げる。	・丁寧且つ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等を精査のうえ運行計画の策定を行うことが肝要。 ・収支率を達成状況の目安にしている場合は、1日貸切なのか、メーターを参考しているのか、待機料金の取扱い等契約内容を運送事業者と定期的に確認しておくことが望ましい。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	殿ノ浦線乗合タクシーの運行	—	A	A	利用状況の分析から、運行便数についても精査を行い、適切な目標値を設定していく。認知度を上げるための広報を行い、ターゲットを絞った周知や見やすい時刻表の作成など、固定化した利用層の幅を広げるための取り組みを行い利用者の増加に繋げる。	・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。 ・収支率を達成状況の目安にしている場合は、1日貸切なのか、メーターを参考しているのか、待機料金の取扱い等契約内容を運送事業者と定期的に確認しておくことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
松浦市地域公共交通活性化協議会	鷹島タクシー	船唐津線乗合タクシーの運行	—	A	A	利用状況の分析から、運行便数についても精査を行い、適切な目標値を設定していく。認知度を上げるための広報を行い、ターゲットを絞った周知や見やすい時刻表の作成など、固定化した利用層の幅を広げるための取り組みを行い利用者の増加に繋げる。	・公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。 ・収支率を達成状況の目安にしている場合は、1日貸切なのか、メーターを参考しているのか、待機料金の取扱い等契約内容を運送事業者と定期的に確認しておくことが望ましい。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	鷹島(阿翁浦)線	—	A	A	利用状況の分析を行い、今後もより効果的な運行形態について検討していく。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
松浦市地域公共交通活性化協議会	昭和自動車株式会社	鷹島(モンゴル村)線	—	A	C	利用状況の分析を行い、特に利用者が少なかった土日の便については早急に見直し、ニーズにあった効率的な運行形態を検討していく。	観光的系統で平均利用者数が僅少なものについては、必要性があるのか検討することが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交 通会議	産交バス株式会社 水俣駅・葛彩館線	水俣駅前～水俣市役 所・渡野～葛彩館	広報誌での利用周知を行った。	A	B	沿線自治会との協議を行い、広 報誌による広報のほか、地域で の説明会の開催など、利用者増 加に向けて取り組みを行ってい く。また、市内全世帯に時刻表を 新たに配布する予定としてい る。	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	
	産交バス株式会社 水俣駅・大川線	水俣駅前～深川・ 愛林館前～大川	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	
	産交バス株式会社 流合橋経由 招川内・茂道線	招川内～流合橋・ 水俣駅前～茂道漁港	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	
	産交バス株式会社 頭石経由 招川内・茂道線	招川内～頭石・ 水俣駅前～茂道漁港	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	
	産交バス株式会社 木臼野経由 水俣市役所・水俣駅 線	水俣市役所～梅戸・ 木臼野～水俣駅前 線	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	
	産交バス株式会社 水俣市役所・木臼野 線	水俣市役所～梅戸・ 茂川～木臼野	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報 活動と併せて、利用者数等の データ分析や利用者の声・要望 等の精査を行い、効率的な運送 サービスの提供を行う必要があ る。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 市木線	市の木～無田・葛彩館～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	C	同上	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 寺床・寒川線	寺床～寒川・葛彩館～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 小津奈木線	合畑入口～小野川内～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 鬼岳線	鬼岳上～水俣市役所～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 猿郷線	猿郷団地～白浜団地～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	A	同上	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 大迫・牧ノ内線	大迫団地～牧ノ内市営住宅前～水俣駅前	広報誌での利用周知を行った。	A	A	同上	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
水俣市地域公共交通会議	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 坂口・八ノ窪線	葛原～浦上町公民館 前・八ノ窪公民館前～ 水俣市役所	広報誌での利用周知を行った。	A	A	同上	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	(資)君島タクシー (有)水俣タクシー (有)大洋タクシー 神川・湯堂線	神川小茂道～冷水 上・ 湯堂～水俣市役所	広報誌での利用周知を行った。	A	B	同上	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇土市地域公共交通会議	<p>【宇土市ミニバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)西田タクシー ・宇城タクシー(有) ・(有)中川タクシー <p>【宇土市コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産交バス(株) 	<p>【宇土市ミニバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網田線 ・網津・緑川線 ・轟南部循環線 ・轟北部循環線 ・宇土北部線 ・花園北部線 ・花園南部線 <p>【宇土市コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環線外回り ・循環線内回り <p>※宇土市コミュニティバスにおいて車両減価償却費等国庫補助金を受けている。</p>	<p>利用者アンケートや利用実績を基に、平成28年度計画(平成27年10月改正)において、利用が少ない系統の廃止やニーズを踏まえたルート・時刻表の見直しを行った。</p>	A	C	<p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>平成27年度(H26.10.1~H27.9.30)のミニバス及びコミュニティバスの収支率25%以上を目標にし、平成24年10月の運行開始以降、ルート見直しや沿線世帯への戸別訪問、割引制度導入などを行い、徐々に利用者数は増加したが、平成27年度収支率 ミニバス:11.4% コミュニティバス:9.9% と目標達成には至らなかった。</p>	<p>全ての系統に同一の目標値を設定しているが、系統毎の現状・性質などに着目し、系統毎の適切な目標値の設定を検討されたい。</p> <p>当該系統の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。</p> <p>利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇城市地域公共交通会議	松橋タクシー有限会社	長崎区域～不知火中心市街地地域の運行	地域の集会などで、周知や現状を把握するため、住民の声や要望を聴き取り調査を実施した結果、利用者の頻度は増加したものの固定化している。	A	B	住民説明会等を開催し、意見交換を行うなど運行計画の見直しを検討する	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	有限会社小川タクシー	小野部田区域～小川中心市街地の運行	利用のデータの分析や、利用者の声や要望を調査を実施した結果、地域の声として必要性はあるものの、利用者が伸びず固定化している。	A	B	地域の要望も踏まえ運行計画を見直し、囑託員や民生委員とともに周知に取り組み、利用促進を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
	産交バス株式会社	三角産交～三角西港～さんばー間の運行	世界遺産登録に伴う観光路線として、一部路線変更やバス停の廃止を行い、各ホームページに時刻表を掲示し、利用促進に努め運行維持を図った。	A	C	三角駅を軸に観光を目的とした利用を促進するとともに、乗降調査や住民、観光客など意向調査を行い、運行ダイヤ改正など検討する。	幹線交通や他のフィーダー路線との連携を図り、生活交通を担いつつ観光需要の取り込みを含め、現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
阿蘇市地域公共交通会議	(資)りんどうタクシー 内牧タクシー(有) (有)阿蘇エースタクシー	乗合タクシー内牧赤水線	地域住民への啓発を目的とし、利用ガイドの配布を実施した。	A	A	事業は適切に実施されており、かつ目標・効果も達成できている。今後も更なる利用者数の増を目指し、啓発等に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草市公共交通連携協議会	産交バス(株)	本渡循環線(北廻り) …本渡バスセンター ～天草市役所前～栄 町～本渡バスセン ター	効率的な運行サービスの提供と合わせて、利用状況の把握を行い、次回の変更に向けて検討を行った。また、老朽化した全停留所を交換し、環境整備を行った。	A	A	本渡バスセンターを発着する幹線バスとの結節や、利用状況を見ながら、循環バスのダイヤやルートを見直し、利便性の向上を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
合志市地域公共交通協議会	熊本電鉄(株)	レターバス	ダイヤを見直しを実施し、遅延解消に向けた取組みを行った。また、市内全世帯に時刻表を配布し、利用促進に努めた。	A	B	公共交通機関を利用している人の割合の目標値:69.0%に対し結果:65.6%に留まったため、利用者増加のため、更なる公共交通利便性の向上を図ると共に利用促進に向け周知啓発等を積極的に行う。 また、本年度に「地域公共交通網形成計画」の策定を予定している。本市の都市将来像及びまちづくりに最適な公共交通ネットワークの再編等、まちづくりや都市計画部署等と連携し、構築していくものとした。	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
		レターバス (左回り平日1便目)	同上	A				
	(株)相互交通	日向・新迫線	市内全世帯に時刻表を配布し、利用促進に努めた。	A				
	(有)キティー交通	合生・上生線	同上	A				
	(有)銀杏交通タクシー	合生・御代志線	同上	A				
	(有)銀杏交通タクシー	後川辺線	同上	A				
長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会	(有)長洲タクシー	長洲町内全域及び荒尾市の一部を運行	利用者数の目標設定を見直し、利便性の向上及び利用促進を図った。	A	A	目標を上回る利用状況にあり、利用できない時間帯も生じているため、今後、増車等について検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南阿蘇村公共交通 連携協議会	産交バス(株) ・(白川水源入口・温泉センター瑠璃経由) 高森駅前～立野駅線	立野駅～高森駅間を 運行	地域からの意見等は随時受け 付けており、ニーズの把握を 図っている。 また、今年度はゆっくとバスの 乗降調査を行っており、更なる 調査・分析を進めている。	A	A	目標値は達成できたが、現状に 満足せず、今後は、路線バスの さらなる利用者増に繋がるよう 運行ルートやダイヤの見直しを 行う。	公共交通の利用促進に取り組 まれ、利用者が増加傾向にある ことは十分評価できる。引き続き 利用者ニーズを把握し運行デー タを精査のうえ、次年度の目標 を設定していただきたい。	
	産交バス(株) ・(白川水源入口経 由)高森駅前～立野 駅線	立野駅～高森駅間を 運行		A	A			
	産交バス(株) ・(あそ望の郷・久木 野庁舎経由)高森駅 前～立野駅線	立野駅～高森駅間を 運行		A	A			
	産交バス(株) ・(久木野庁舎経由) 高森駅前～立野駅線	立野駅～高森駅間を 運行		A	A			
	産交バス(株) ・(白川水源入口・久 木野庁舎経由)高森 駅前～立野駅線	立野駅～高森駅間を 運行		A	A			
	阿蘇観光タクシー くさむらタクシー (共同運行) 地獄垂玉線	下田駅～地獄・垂玉 温泉間を運行(予約 制)		利用状況に関して各タクシー 業者からデータを頂いているの で、今後はそれを発展させて利 活用を図る。	A			B

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
益城町地域公共交通会議	熊交観光タクシー(株) (有)益城タクシー (有)光洋タクシー	福田地区～木山産交 バス停・木山上町・惣 領の運行	対象地域へのチラシの配布を行 い、潜在的需要の掘り起こしを 行った。	A	A	現状ではまだ自家用車での移 動が多いため、今後の利用者数 は当分の間横ばいであることも 予想される。しかしながら、該当 地区での利用増に繋がるヒアリ ング、当事業のPR活動を強化、 各種利便性向上に関する検討 を行い、新規利用者の掘り起こ すことにより、更なる利用者増を 目指す。	公共交通の利用促進に取り組 まれ、利用者が増加傾向にある ことは十分評価できる。引き続き 利用者ニーズを把握し運行デー タを精査のうえ、次年度の目標 を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
上天草市地域公共交通会議	産交バス株式会社	三角西港経由 三角産交・さんばー線の運行	周知や広報は行ったが、運行データの分析や利用者の要望等の精査を行うことができなかった。	A	C	本システムは、平成27年7月に世界遺産登録された三角西港を経由するルートとなっており、世界遺産登録後の7月から12月までの利用者数が増加傾向にあることから、生活交通に加えて観光目的の利用が期待できる。本システムの認知度を向上させるため、各媒体を活用してバスや三角西港の魅力情報を発信することに加え、宇城市や観光事業者等と協力しながら、利用者が増加するよう努める。	幹線交通や他のフィーダー路線との連携を図り、生活交通を担いつつ観光需要の取り込みを含め、現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によってはシステムの運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
	有限会社 協和タクシー	維和地区乗合タクシーの運行	利用者の要望を踏まえ、平成27年10月からドアtoドアの制度を導入し、その周知については、該当地区に対して本市が発行する公共交通だよりを全戸配付した。	A	C	本市乗合タクシーの制度が、該当地区で認知されていることにより、各地区とも利用者数は増加しているものの、1人利用による利用が多いため、収支率が減少している。今後は運行事業者や利用者が乗合で利用することで何らかのインセンティブが得られるような仕組みを関係者等と検討し、複数利用を増やすよう努める。	乗合率の向上を含め、現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によってはシステムの運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
	有限会社 柳タクシー				C			
	藤川タクシー	C						
有限会社竜ヶ岳タクシー	夏・唐地区乗合タクシーの運行	C						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
菊陽町地域公共交通会議	産交バス株式会社	中央循環線 光の森～図書館～ 役場を運行	町広報紙での巡回バスの特集 や町内全世帯にパンフレットを 配布し、周知を図るとともにアン ケート調査等で利用者の意見収 集に努めた	A	A	路線によって利用人数に差があ り、市街地以外を主に通る路線 は利用人数が少ない。今後は利 用状況を調査し、ルートやダイ ヤ等の変更を検討するとともに 利用人数を増やすため広報活 動を行っていく	公共交通の利用促進に取り組 まれ、利用者が増加傾向にある ことは十分評価できる。引き続き 利用者ニーズを把握し運行デー タを精査のうえ、次年度の目標 を設定していただきたい。	
		東部循環線 図書館～戸次を運 行		A	A			
		南部循環線 井口～下津久礼～ 東ヶ丘～図書館を運 行		A	A			
		巡回バス 車両減価償却費等国 庫補助金		A	A			
	熊本電気鉄道株式会 社	北部循環線 沖野～古閑原～図 書館を運行 ※補助路線対象外		A	A			
		西部線 花立～武蔵ヶ丘～ 図書館を運行 ※補助路線対象外		A	A			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玉名市地域公共交通会議	玉名タクシー有限会社、有限会社高瀬合同タクシー、有限会社岱洋タクシー、有限会社アトム	滑石・岱明地域(予約制乗合タクシー)、大浜・横島地域(予約制乗合タクシー)	・目標・効果の設定を、より適切に行った。	A	B	利用状況の把握、利用者の意見聴取を継続的に行い、必要に応じて運行内容の見直し検討を行うとともに利用促進に向けた取組を行う。	現在の目標値は地域全体の利用者数となっている。地域全体の利用者数の維持・向上も重要な視点ではあるが、それぞれ性質の異なるシステムを検証・改善を行っていくためには、今後システム毎の目標値の設定が重要である。	
	産交バス株式会社	九州看護福祉大学經由玉名駅・新玉名駅線	評価なし	A	B	運行ダイヤの再検討(通学)。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によってはシステムの運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	新規路線

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
荒尾市地域公共交通活性化協議会	(有)荒尾タクシー、平和タクシー(有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(平井地区)の運行	広報紙等による住民への周知強化や、予約時間の変更などの改善を行い、利便性の向上を図った。	A	C	住民への周知を強化するとともに、さらなる利便性向上を図る。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。 現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	
	(有)荒尾タクシー、平和タクシー(有)、(有)有明タクシー	荒尾市予約型乗合タクシー(府本地区)の運行	同上	A	C			
	産交バス(株)	住吉線の運行	広報紙等による住民への周知強化や利用促進により、利用者の増加を図った。	A	C			
		助丸線の運行	同上	A	C			
		八幡台線の運行	同上	A	C			

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	大分シティタクシー株式会社 大分はとタクシー株式会社 弓立ルート(通常便: 戸次)	弓立～戸次の運行	<p>(前回の事業評価結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等の精査を行うと共に、路線の維持が必要かどうかの見極めを慎重に行うことも必要。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を継続すると共に、運行データ、利用者の声を反映して、運行ルート・運行時刻表の見直しを行った。 ・一部ルートにおいては地域との話し合いを経て、路線を廃止することとなった。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して実施し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行うため、定期利用者と行政との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進 ●利用者の利便性の向上を図るとともに、地域への運行の周知を図るため、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・停留所の標識やベンチを設置した停留所の拡大。 ・地区公民館への大型時刻表の掲示。 ・携帯時刻表の作成・配布。 ●路線バス(ワンコインバス)との接続の利便性の向上を図りながら、更なる利用者の増加を目指す。 	<p>丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。</p>	
	大分シティタクシー株式会社 大分はとタクシー株式会社 弓立ルート(通学便: 戸次)	弓立～戸次の運行						
	大分シティタクシー株式会社 大分はとタクシー株式会社 弓立ルート(通常便: 判田)	弓立～判田の運行						
	大分シティタクシー株式会社 大分はとタクシー株式会社 冬田ルート(戸次)	下冬田～戸次の運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大分市地域公共交通協議会	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 判田ルート(通常便)	安田～判田局前の運行	<p>(前回の事業評価結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、運行データの分析や利用者の声・要望等の精査を行うと共に、路線の維持が必要かどうかの見極めを慎重に行うことも必要。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動を継続すると共に、運行データ、利用者の声を反映して、運行ルート・運行時刻表の見直しを行った。 ・一部ルートにおいては地域との話し合いを経て、路線を廃止することとなった。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●路線ごとに毎年開催する「地域検討会」を継続して実施し、地域の実情や利用者ニーズの変化に対応した見直しを行うため、定期利用者と行政との協働で、以下の事項の検討に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の評価及び検証 ・地域住民の利用ニーズ ・次年度の運行計画 ・利用促進 ●利用者の利便性の向上を図るとともに、地域への運行の周知を図るため、以下の事項に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・停留所の標識やベンチを設置した停留所の拡大。 ・地区公民館への大型時刻表の掲示。 ・携帯時刻表の作成・配布。 ●路線バス(ワンコインバス)との接続の利便性の向上を図りながら、更なる利用者の増加を目指す。 	<p>丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。</p>	
	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 判田ルート(通学便)	板山～判田局前の運行						
	オーケーはとタクシー株式会社 大分タクシー株式会社 中野ルート	中野～戸次の運行						
	大分シティタクシー株式会社 延命寺ルート	延命寺～坂ノ市の運行						
	クリスタルシティタクシー株式会社 市尾ルート	木田南部～坂ノ市の運行						
	ワーカーズコープタクシー有限会社 クリスタルシティタクシー株式会社 大黒ルート	大黒～佐賀関の運行						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通 会議	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【永添線】 中津駅～万田～大 貞車庫	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～ 野路	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。	A	B	12月に公共交通マップを配 布したので、周知活動を行 い、公共交通利用環境を改 善する。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～沖代町～ 大貞車庫	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～中津北高 ～野路	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。	A	B	12月に公共交通マップを配 布したので、周知活動を行 い、公共交通利用環境を改 善する。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中津市公共交通 会議	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【耶馬溪線】 中津駅～中津北高 ～大貞車庫	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。	A	B	12月に公共交通マップを配 布したので、周知活動を行 い、公共交通利用環境を改 善する。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	大交北部バス株式 会社	路線バス事業 【深秣線】 中津駅～イオン～ 山口	公共交通マップを作成し、全 世帯へ配布を行った。 午前中の便を病院利用者が 利用しやすい時間へダイヤ を変更した。	A	A	輸送人員が維持できるよう、 利用者の環境改善に努め る。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) ひたはしり号 Aコース	日田～玉川～中ノ島 ～竹田新町～日田の 循環コースを運行	<p>住民との意見交換については、随時職員が地域に出向き、意見交換を行う中で、制度の説明や運行形態に関する聞き取り調査を行い、実態把握に努めている。</p> <p>また、委託事業者と高齢者学級に出向き「バス乗り方教室」や毎年9月に行っている「バスの日イベント」時に交通相談会等を行う中でも随時意見交換を行っている。</p> <p>利用者の声や、要望については、意見交換で得た情報や、運行データを精査したうえで、検討することとしている。</p>	A	A	<p>目標は達成しているが、今後も引続き周知事業と利用者アンケートや意見交換を続け、引続き利用促進を図るとともに委託事業者等と連携し今後の運行のあり方を模索していく。</p>	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	日田バス(株) ひたはしり号 Bコース	日田～城内団地～市役所前～日田の循環コースを運行					公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	日田バス(株) ひたはしり号 Cコース	日田～玉川～石井～誠和町～日田の循環コースを運行					公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	日田バス(株) ひたはしり号 Dコース	日田～豆田町～朝日町～清岸寺町～城町～日田の循環コースを運行					公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	日田バス(株) 夜明循環線	日田～玉川～夜明～川下～竹田新町～日田の循環コースを運行					公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日田市地域公共交通確保維持協議会	日田バス(株) 杷木循環線	日田～玉川～夜明～ 杷木～川下～竹田新 町～日田の循環コ ースを運行	住民との意見交換について は、随時職員が地域に出向き、 意見交換を行う中で、制度の説明 や運行形態に関する聞き取り 調査を行い、実態把握に努めて いる。 また、委託事業者と高齢者学 級に出向き「バス乗り方教室」や 毎年9月に行っている「バスの 日イベント」時に交通相談会等 を行う中でも随時意見交換を 行っている。 利用者の声や、要望について は、意見交換で得た情報や、運 行データを精査したうえで、検討 することとしている。	A	A	目標は達成しているが、 今後も引続き周知事業と 利用者アンケートや意見 交換を続け、引続き利用 促進を図るとともに委託事 業者等と連携し今後の運 行のあり方を模索してい く。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	日田バス(株) 杷木線	日田～玉川～夜明～ 穂坂～杷木のコース を運行					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	日田バス(株) 五馬線	日田～小淵～花香～ 近原～中村～五馬入 口のコースを運行	各地域等に入り、意見聴 取、及び、乗り方教室等は随 時行っている。利用者の声 や、要望については、意見交 換で得た情報や、運行データ を精査したうえで、検討する こととしている。	A	A	目標は達成しているが、 今後も引続き周知事業と 意見交換等を受け、委託 事業者と連携し今後の運 行のあり方を模索してい く。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	日田バス(株) 大野線	日田～沈橋～中川原 ～大野～座目木の コースを運行					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	日田バス(株) 出野線	日田～高瀬農協前～ 松金～出野～星払の コースを運行					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持協議会	佐伯市	佐伯市営コミュニティバス 黒沢・岸河内線	地域代表者を通じ地域住民への利用促進周知	A	A	目標は達成しているが、利用促進を図る為、引き続き啓発活動を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、平均利用率が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		佐伯市営コミュニティバス 大入島線	区長会等での利用促進に向け地域住民への周知を行った。	A	A		公共交通の利用促進に取り組み、平均利用率が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		佐伯市営コミュニティバス 弥生地域	地域代表者を通じ地域住民への利用促進周知	A	A		公共交通の利用促進に取り組み、平均利用率が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		佐伯市営コミュニティバス 本匠地域	地域内での利用促進の聞き取り調査を実施	A	A		公共交通の利用促進に取り組み、平均利用率が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		佐伯市営コミュニティバス 宇目定時定路線	利用促進を図る為、チラシの配布を行った。	A	A		公共交通の利用促進に取り組み、平均利用率が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
佐伯市地域公共交通確保維持協議会	佐伯市	佐伯市営コミュニティバス 宇目デマンド線	利用促進を図る為、チラシの 配布を行った。	A	A	目標は達成しているが、利用 促進を図る為、引き続き啓発 活動を行う。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、平均利用率が目標 を達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		佐伯市営コミュニティバス 直川線	地域代表者を通じ地域住民 への利用促進周知	A	A		公共交通の利用促進に取り 組まれ、平均利用率が目標 を達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
臼杵市地域公共交通活性化協議会	臼津交通(株) 臼杵タクシー(株) 富士タクシー(株) 野津タクシー(有)	既存コミュニティバス【城崎線、白岩線、上松線、六ヶ迫線、佐志生線、東神野線、西神野線、市内循環線、南野津・東谷線】	前年度より新規利用者も増え増加しているが、目標の達成には至らなかった	A	B	利用者のニーズを的確に把握し、低調な路線の見直しを図るとともに、安定した利用のある市内循環線についてもより利便性を高めるため、地域の特性に合った効果的な地域公共交通ネットワーク構築に取り組む	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
津久見市地域公共交通活性化協議会	津久見タクシー(株) 光タクシー(株)	中央病院～津久見 駅線の運行	地区での体験試乗会の実施・地区説明会を実施し、丁寧かつ効果的な周知に努め、利用促進を図った。	A	A	体験試乗会等の実施により、地域の要望等の精査を行い、より効率的な運送サービスの提供と、丁寧かつ効果的な情報提供に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	津久見タクシー(株)	落の浦～大浜線の 運行	地域住民の方と話す場の中で乗合タクシーに関する情報提供を行った。	A	B	利用者が減少傾向にあるため、今後も乗降調査等を実施する中で、より効率的な運送サービスを検討していく。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	臼津交通(株)	路線バス18系統の 運行	地域の高齢者団体の会合に参加し、乗合タクシーも含めた公共交通の利用促進に努めた。またわかりやすい時刻表の作成に努め、全戸に配布を行った。	A	C	地域の方に対して、公共交通の現状を伝えていくとともに、利用促進に向けた説明会等の中で、要望等の精査、また効果的な情報提供に努めていく。	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によってはシステムの変更等を行うことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域 公共交通会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	上野線 上野～健康交流セ ンター花いろ～商 工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのヒヤリングや運 行事業者との意見交換会を 開催しダイヤ改正に反映。 ・公共交通路線図や乗り方を 記載した”公共交通マップ”を 作成し市内全戸に配布。 ・運行方法や路線等改正の お知らせを全戸配布 ・公共交通乗り継ガイドを作 成し、主要施設やバスターミナル 等にて配布 ・市の広報媒体を活用して公 共交通の情報発信を実施 ・公共交通の乗り継をスム ーズに行えるように”マイ時刻 表”の作成し配布 	A	A	利用者数、負担額ともに目標 を達成しているが引き続き地 域住民等の意見を反映し利 用率向上を図りたい。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数等が目標 を達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	香国タクシー	熊野線 商工会議所～健康 交流センター花いろ ～商工会議所		A	B	水・金は午後の便も運行して おり利用者は少ないが、高齢 者の移動手段の確保はでき ている。今後も利用実績、利 用者の意向調査などを踏ま えて、利用率の向上を図る必 要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	並石線 大日大橋～健康交 流センター花いろ～ 商工会議所		A	B	下り1便の利用者数が少ない が、高齢者にとっては必要な 交通手段となっている。今後 も利用実績、利用者の意向 調査などを踏まえて、利用率 の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	長岩屋線 三畑公民館～健康 交流センター花いろ ～商工会議所		A	A	利用者数、負担額ともに目標 を達成しているが引き続き地 域住民等の意見を反映し利 用率向上を図りたい。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数等が目標 を達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	草地線 長添～スーパーあ さの～商工会議所		A	B	利用者は少ないが、高齢者 のにとって必要な交通手段と なっている。今後も利用実 績、利用者の意向調査など を踏まえて、利用率の向上を 図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域 公共交通会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	黒土線 小河内～スパランド 真玉～スーパーま たま	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのヒヤリングや運行事業者との意見交換会を開催しダイヤ改正に反映。 ・公共交通路線図や乗り方を記載した”公共交通マップ”を作成し市内全戸に配布。 ・運行方法や路線等改正のお知らせを全戸配布 ・公共交通乗り継ぎガイドを作成し、主要施設やバスターミナル等にて配布 ・市の広報媒体を活用して公共交通の情報発信を実施 ・公共交通の乗り継ぎをスムーズに行えるように”マイ時刻表”の作成し配布 	A	B	上り3便については、利用者が少ないため、今後にご利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	臼野線 根の木～大平公民館 ～スーパーまた ま		A	B	上り1便については、利用者が少ないが、市中心部への移動として路線バスに乗り継ぐ便としては必要な路線であるため、利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	香国タクシー	夷線 夷谷温泉～西夷公民館 ～10-1構造改善センター		A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	香国タクシー	小畑線 夷谷温泉～三浦郵便局 ～サンククリニック		A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	香国タクシー	羽根線 夷谷温泉～羽根上公民館 ～サンククリニック		A	B	買い物、病院及び温泉に行くための交通手段として必要な路線である。今後も利用実績、利用者の意向調査などを踏まえて、利用率の向上を図る必要がある。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後高田市地域 公共交通会議	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	来縄線(デマンド 型) 森西部～来縄地域 ～商工会議所	・利用者へのヒヤリングや運 行事業者との意見交換会を 開催し”事前登録制・事前 予約制”デマンド型運行に見 直した。	A	B	2回の利用しかなく、デマンド 利用登録者、地域住民との 意向調査を実施のうえ、平成 27年10月の改正時に廃止と している。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	呉崎線(デマンド 型) 呉崎11・12～呉崎 地域～商工会議所	・公共交通路線図や乗り方を 記載した”公共交通マップ”を 作成し市内全戸に配布。 ・運行方法や路線等改正の お知らせを全戸配布 ・公共交通乗り継ガイドを作 成し、主要施設やバスターミナル 等にて配布	A	B	利用者数は少ないが、利用 登録者が増えてきており、今 後利用率の増が見込まれ る。 今後も利用実績、利用者の 意向調査などを踏まえて、利 用率の向上を図る必要があ る。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
	宇佐参宮タクシー (有) (株)KCタクシー大分 中津太陽交通(株)	西真玉線(デマンド 型) 湯原上～西真玉地 域～スーパーまた ま	・市の広報媒体を活用して公 共交通の情報発信を実施 ・公共交通の乗り継をスム ーズに行えるように”マイ時刻 表”の作成し配布	A	B	利用者数は少ないが、利用 登録者が増えてきており、今 後利用率の増が見込まれ る。 今後も利用実績、利用者の 意向調査などを踏まえて、利 用率の向上を図る必要があ る。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	三光タクシー(有)	八坂線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	A	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数等が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	三光タクシー(有)	北杵築線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	A	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数等が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	杵築国東合同タクシー(株)	東線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	B	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	杵築国東合同タクシー(株)	大内線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	B	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	(有)日出タクシー	東山香線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	B	増便を検討したい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
杵築市地域公共交通活性化協議会	(有)日出タクシー	上線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	B	増便を検討したい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	山香タクシー(有)	中線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	B	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	山香タクシー(有)	立石・向野線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	A	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数等が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	山香タクシー(有)	山浦線	OD調査や車内で運転手の聞き取りによるアンケートを実施し、希望する運行日や乗合タクシーに関する要望等を調査し運行計画の作成に努めた。検証は不十分。	A	A	1便当たり2人以上を目指すとともに、稼働率、利用者数の増を目指し、事業の周知・利用の促進に努めたい。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数等が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宇佐市地域公共交通会議	大交北部バス(株)	路線バス (1) 麻生(山口経由) (2) 麻生 (3) 乙女 (4) 豊州 (5) 西椎屋(円座発) (6) 西椎屋(土岩屋経由) (7) 西椎屋(上副発) (8) 定別当 (9) 西椎屋(下恵良行) (10) 日の岳 (11) 豊州(知野経由) (12) 国道中高 (13) 津房 コミュニティバス (14) 上麻生線 (15) 上麻生線(南敷田経由) (16) 西馬城線 (17) 高家・天津線 (18) 萱籠・釜ノ口線 (19) 中山・新貝線 (20) 古川・上ノ原線 (21) 大内・塔尾線 (22) 南毛線 (23) 安心院亀川 (24) 長洲金屋線 (25) 上内河野線	今後も各路線、個別継続的に状況の確認と、改善活動を続ける。	A	B	今回、全体として目標達成が見込まれてきたものの、特にコミュニティバスについて、周辺山間部の利用者減が顕著になっている。すでに「まちづくり協議会」など住民団体・自治会と連絡をとりあっており、「地域の高齢化と自然減」が最大の要因だと結論付けられている。この傾向が続く場合、既存の運行形態の是非について検討が必要であるため、周辺山間部のデマンド化について大分県とも協力して先行実験を開始している。(H28.1月～2月末) 当該実験を状況も踏まえて、これまで路線バス⇒コミュニティバスとシフトしてきたモードを、更に次の段階へシフトさせ、デマンド化も含めて検討を重ねたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域 公共交通活性化 協議会	大野竹田バス株式 会社	<p><清川町> 通学西小線、清川・ 市民病院線の運行</p> <p><緒方町> 南部東線、南部西 線、上緒方線、小富 士線、長谷川線、上 緒方・小富士線、長 谷川・南部線の運 行</p> <p><朝地町> 朝地・市民病院線、 北部幹線、梨小線 (H27.10.1より鳥屋 線に名称変更)、普 光寺線(H27.10.1よ り近地・普光寺線に 名称変更)の運行</p> <p><大野町> 古殿線、貫原線、木 浦畑線、岩杉線、沢 田線、牧原・広戸 線、藤浪線、田中・ 市民病院線の運行</p> <p><千歳町> 下山・前田線、高柴 線、船田線、石田・ 大高線の運行</p>	<p>朝地町において、前年度に 行ったアンケート結果をもと に路線の見直しを行い、併せ てスクールバスとの混乗型に 移行し、児童生徒の社会性 の向上に努めた。</p> <p>また、朝地町の新規路線運 行に伴い、利用促進策とし て、「大人の社会見学」という 社会実験を引き続き実施し、 朝地地域の利用促進につな げた。</p>	A	B	<p>H27年10月よりスタートし た新規路線の利用促進、 並びに利用者の伸び悩み が見て取れる清川地域の 利用促進を積極的に行っ ていく。</p> <p>また、犬飼地区において、 スクールバスとコミュニ ティバスの混乗型への移 行を検討協議し、併せて、 路線バスや鉄道との接続 を充実させる。</p> <p>バスの乗車、乗継等を市 ケーブルテレビを活用し周 知していく。</p>	<p>丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
豊後大野市地域 公共交通活性化 協議会	豊後大野市タク シー協会	<p><三重町> 川辺・向野線、小坂 線、山田線、内田 線、菅尾線、あいの りタクシーの運行</p> <p><清川町> 通学東小線、あいの りタクシーの運行</p> <p><朝地町> 鳥屋線、近地・普光 寺線、綿田線、臼木 線、小川野・志屋 線、梨原線、南部幹 線、田夫時線の運 行</p> <p><犬飼町> 高津原線、田原・戸 上線、西寒田線、宇 津尾木線の運行</p>	<p>朝地町において、前年度に 行ったアンケート結果をもと に路線の見直しを行い、併せ てスクールバスとの混乗型に 移行し、児童生徒の社会性 の向上に努めた。</p> <p>また、朝地町の新規路線運 行に伴い、利用促進策とし て、「大人の社会見学」という 社会実験を引き続き実施し、 朝地地域の利用促進につな げた。</p>	A	B	<p>H27年10月よりスタートし た新規路線の利用促進、 並びに利用者の伸び悩み が見て取れる清川地域の 利用促進を積極的に行っ ていく。</p> <p>また、犬飼地区において、 スクールバスとコミュニ ティバスの混乗型への移 行を検討協議し、併せて、 路線バスや鉄道との接続 を充実させる。</p> <p>バスの乗車、乗継等を市 ケーブルテレビを活用し周 知していく。</p>	<p>丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。</p>	
由布市	大分バス株式会社	<p>阿蘇野コース、阿蘇 野スクールコース、 大津留スクール コース、シャトルバ ス(大学病院⇄庄 内庁舎)</p>		B	B	<p>人口減少地域を運行する路線 については、今後の利用者数の 増加は見込めないため、現状維 持或いは利用者数の減少幅を 少しでも小さくする目標値とす る。</p>	<p>丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。</p>	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株) 岐部線 [申請番号1]	伊美から上岐部まで (岐部経由)	地域協働推進事業の一環として行う利用助成券制度の広報と併せて、路線周域の住民に対して利用促進を行った。 また、利用者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を行った。	A	A	平成26年より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。 また、新たなユーザを掘り起こすため、モビリティ・マネジメントの推進を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号2]	国東から竹田津港まで (伊美港経由)						
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号3]	国東から国見中まで (伊美経由)						
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号4]	伊美から中の迫まで (岐部経由)						
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号5]	中の迫から伊美小まで (岐部経由)						
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号6]	国東から伊美まで (岐部経由)						
	国東観光バス(株) 竹田津線 [申請番号7]	国東から伊美まで (伊美港経由)						
	国東観光バス(株) 赤根線 [申請番号8]	伊美から赤根まで (国見中町経由)						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株) 西方寺線 [申請番号9]	伊美から西方寺まで (国見中町経由)	地域協働推進事業の一環として行う利用助成券制度の広報と併せて、路線周域の住民に対して利用促進を行った。 また、利用者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を行った。	A	A	平成26年より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。 また、新たなユーザを掘り起こすため、モビリティ・マネジメントの推進を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	国東観光バス(株) 豊崎線 [申請番号10]	国東から稲川まで (行入・国中経由)						
	国東観光バス(株) 豊崎線 [申請番号11]	国東から稲川まで (行入経由)						
	国東観光バス(株) 豊崎線 [申請番号12]	国東から行入まで (立野経由)						
	国東観光バス(株) 上国崎線 [申請番号13]	国東から上成仏まで (立野経由)						
	国東観光バス(株) 上国崎線 [申請番号14]	国東から上成仏まで (国中経由)						
	国東観光バス(株) 文珠線 [申請番号15]	国東から文珠まで (富来橋経由)						
	国東観光バス(株) 文珠線 [申請番号16]	国東から文珠まで (国中経由)						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
国東市地域公共交通確保維持協議会	国東観光バス(株) 文珠線 [申請番号 17]	国東から夫婦石まで (富来橋経由)	地域協働推進事業の一環として行う利用助成券制度の広報と併せて、路線周域の住民に対して利用促進を行った。 また、利用者に対し、利用状況の聞き取りと要望調査を行った。	A	A	平成26年より開始した利用助成券を用いた運賃割引制度を引き続き行うとともに、路線周域の住民に制度の周知徹底を図る。 また、新たなユーザを掘り起こすため、モビリティ・マネジメントの推進を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
	国東観光バス(株) 岩戸寺線 [申請番号 18]	国東から岩戸寺上まで (国中経由)						
	国東観光バス(株) 岩戸寺線 [申請番号 19]	国東から岩戸寺上まで (富来橋経由)						
	国東観光バス(株) 丸小野線 [申請番号 20]	国東から丸小野上まで (武蔵経由)						
	国東観光バス(株) 朝来線 [申請番号 21]	安岐から諸田まで (市民病院経由)						
	国東観光バス(株) 朝来線 [申請番号 22]	安岐から諸田まで (長瀬経由)						
	国東観光バス(株) 両子線 [申請番号 23]	安岐から両子寺まで (市民病院経由)						
	国東観光バス(株) 両子線 [申請番号 24]	安岐から両子寺まで (梅園の里経由)						

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考		
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果			
日出町生活交通 確保維持協議会	日出町	豊岡線	要望調査をもとに車両を1台追加し、H26.10よりの増便(週1日から2日)を実施した。また、広報誌や各戸配付等を多段階で行い周知啓発を図った。また、中心市街地と幹線道路を除く周辺地区でのフリー乗降制を採用し利用者の利便性向上に努めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に実施予定の町内全戸を対象とした要望調査を基に、運行計画の見直しを行う。 ・広報媒体等を活用し、定期的な情報発信を行う。 ・地域協働推進事業計画の実施に合わせ、交通マップや総合時刻表などの作成・配布を行い、バスの利用を促す取組みを行う。 	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。			
		藤原赤松線 (基本・延長路線)								
		藤原一北線 (基本・延長路線)								
		川崎線								
		大神線								
		南端農道線	広報誌や各戸配付等を多段階で行い周知啓発を図った。また、中心市街地と幹線道路を除く周辺地区でのフリー乗降制を採用し利用者の利便性向上に努めた。						公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		南端県道線								

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日出町生活交通 確保維持協議会	国東観光バス (株)	牧の内線	ニーズ調査によって要望が 強かった、中心市街地・保健 師福祉センターを經由する路 線へと全路線ルート変更を 実施した。また、広報誌や各 戸配付等を多段階で行い周 知啓発を図った。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に実施予定の町内全戸を 対象とした要望調査を基に、運 行計画の見直しを行う。 ・広報媒体等を活用し、定期的 な情報発信を行う。 ・地域協働推進事業計画の実施 に合わせ、交通マップや総合時 刻表などの作成・配布を行い、 バスの利用を促す取組みを行 う。 	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		平原線					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		軒の井線					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		深江線					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		小深江線					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
		真那井線					公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	
							公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価出 来る。引き続き利用者ニーズ を把握し、運行データを精査 の上、次年度の目標を設定 していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通 協議会	九重町	小平谷～豊後中村 駅～九重町役場の 運行	住民要望のあった場所を路線延長し、広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	B	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
		寺床～豊後中村駅 ～九重町役場の運 行	住民要望のあった場所を路線延長し、広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	C	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	運行系統ごとに経常収支率を正確に把握することは困難。また、外的要因に左右されるため、経常収支率のみを指標とすることは適切ではない。平均乗車密度あるいは利用者数と併せて総合的に捉えることが望ましい。	
		うるが～引治駅～ 川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	C	無理のない目標を設定するとともに、広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	運行系統ごとに経常収支率を正確に把握することは困難。また、外的要因に左右されるため、経常収支率のみを指標とすることは適切ではない。平均乗車密度あるいは利用者数と併せて総合的に捉えることが望ましい。	
		猪牟田～九重町役 場～川西の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	C	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	運行系統ごとに経常収支率を正確に把握することは困難。また、外的要因に左右されるため、経常収支率のみを指標とすることは適切ではない。平均乗車密度あるいは利用者数と併せて総合的に捉えることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
九重町地域交通 協議会	九重町	中須～九重町役場 ～恵良駅の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	A	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		野倉～恵良駅～塚脇の運行	住民の要望によりバス停を追加し、広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	A	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		塚脇～恵良駅～豊後中村駅の運行	住民の要望によりバス停を追加し、広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。また、フリー乗降を導入し、利便性を向上させた。	A	B	広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
		豊後中村～鹿伏～豊後中村の運行	広報等で公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図った。	A	A	無理のない目標を設定するとともに、広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	
		竹の下～九重町役場～竹の下の運行	住民の要望により新規路線として運行を開始した。	A	C	無理のない目標を設定するとともに、広報等でさらなる公共交通機関の維持の必要性の周知と利用促進を図り、利用率に応じて運行の形態等の見直しを検討する。	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によってはシステムの変更等を行うことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
玖珠町地域交通 協議会	系統名:まちなか循環バス 事業者名:玖珠観光バス(株)	わらべの館を起点として、町中の主要施設(役場、商店、医療機関、金融機関等)を循環し運行	平成26年10月から地域一体による取組の一環として、民間バス会社と協力・連携し、豊後森駅前のバス停を統一することで、利用者の利便性向上を図った。平成27年4月からは総合運動公園への乗り入れを開始した際、町報くす全町民に広くまちなか循環バスの利用呼びかけた。	A	A	今後は可能な限りJR豊後森駅のダイヤにあわせ、JRとの連結を円滑にすることで、利用者の利便性の向上及び新規利用者の確保を図りたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	系統名:小型乗合バス(岩室線) 事業者名:大交タクシー(有)	書曲三～下長野の運行	運行経路の見直しとして平成27年4月から総合運動公園への乗り入れを開始した際、関係自治区への時刻表の配布を行った。	A	B	関係自治区・利用者の日常の声を適切に反映できるよう、事業者との連携・相談体制を密にするとともに、利用者等への調査を行い、路線の見直しを行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	系統名:玖珠町 事業者名:ふれあい福祉バス(伐株線)	唐杉～福祉センターの運行	運行経路の見直しとして平成27年4月から総合運動公園への乗り入れを開始した際、利用者への広報として、新たに玖珠町ホームページにて路線図、料金表、時刻表を掲載した。	A	B	利用するバス停が固定しているため、路線そのもの見直しが必要である。また、路線を継続する場合は、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
	系統名:玖珠町 事業者名:ふれあい福祉バス(小田線)	小田～福祉センターの運行	運行経路の見直しとして平成27年4月から総合運動公園への乗り入れを開始した際、利用者への広報として、新たに玖珠町ホームページにて路線図、料金表、時刻表を掲載した。	A	A	利用者の少ないバス停も数か所あることから、利用者にとってより便利で効率的な運行ルートとなるよう、調査を行い改善へと繋げる。また、自治区への利用呼びかけを実施し、新規利用者の増加を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価出来る。引き続き利用者ニーズを把握し、運行データを精査の上、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	美々地線	各世帯・転入者への時刻表、路線図、利用促進チラシの配布や市HP等を活用した啓発促進活動を行った。また、各地区長への説明会や意見交換を行い、一部のルート、ダイヤの変更や新規路線の導入の検討を進めている。	A	B	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要不可欠な路線である。ため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努めルート、ダイヤの見直しや新規路線の導入等により乗車率の改善と利便性の向上を図っていく。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	鹿川線		A	C		利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを精査の上、役割分担を明確化しつつ地域一体となって取組みを実施する必要がある。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	二股線		A	A		公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	猿渡線		A	A		公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	三ヶ村線		A	A		公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	大久保下線	各世帯・転入者への時刻表、路線図、利用促進チラシの配布や市HP等を活用した啓発促進活動を行った。また、各地区長への説明会や意見交換を行い、一部のルート、ダイヤの変更や新規路線の導入の検討を進めている。	A	B	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要不可欠な路線である。ため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努めルート、ダイヤの見直しや新規路線の導入等により乗車率の改善と利便性の向上を図っていく。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	下崎・笠下黒原線		A	A		目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組まれており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	(株)あさひ観光バス	片内・菅原線		A	A		公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎第一交通(株)、延岡グリーンタクシー(株)、宮交タクシー(株)、(株)扇興タクシーの共同運行	下塚線		A	A		目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組まれており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		市尾内線		A	A		公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎第一交通(株)、延岡グリーンタクシー(株)、宮交タクシー(株)、(株)扇興タクシーの共同運行	三川内線	各世帯・転入者への時刻表、路線図、利用促進チラシの配布や市HP等を活用した啓発促進活動を行った。また、各地区長への説明会や意見交換を行い、一部のルート、ダイヤの変更や新規路線の導入の検討を進めている。	A	A	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要不可欠な路線である。ため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努めルート、ダイヤの見直しや新規路線の導入等により乗車率の改善と利便性の向上を図っていく。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		上三輪・中三輪～平田線		A	B		目標設定が低いにもかかわらず目標を達成しておらず、当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によってはシステムの変更等を行うことも検討すべき。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		安井・神戸～レーヨン線		A	A		目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組みられており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		須佐～大武線		A	C		広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いを性格に把握し、その結果を踏まえ利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会		小川～平田線		A	A		目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組みられており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市	上赤線	各世帯・転入者への時刻表、路線図、利用促進チラシの配布や市HP等を活用した啓発促進活動を行った。	A	B	路線バス等が運行していない交通空白地域であり、地域住民の生活にとって必要不可欠な路線である。ため、事業者、行政、地域住民等が連携・協力して利用促進を行うとともに、地域の声や利用者ニーズの把握に努めルート、ダイヤの見直しや新規路線の導入等により乗車率の改善と利便性の向上を図っていく。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市	下塚線		A	A		公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市	瀬口線		A	C		利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを精査の上、役割分担を明確化しつつ地域一体となって取組みを実施する必要がある。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	延岡市	家田線		A	C		広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
延岡市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	まちなか循環バス		事業者や協議会と連携し、ソフト・ハード面から各種利用促進事業に取り組んだ。	A		A	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～上九瀬線	様々な機械において利用促進を図った。	A	C	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～鷓野循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	C	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～岡原循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～種畜牧場循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～南ヶ丘線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～環野～千歳線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～運動公園循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～深草循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～大出水循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	B	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～三松循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
小林市地域公共交通活性化協議会	宮崎交通(株)	小林～上原循環線	27年度に路線変更を実施した。様々な機械において利用促進を図った。	A	A	時刻表の配布やイベント時のPR活動、アンケート調査によって利用促進を図り、新規利用者の開拓を図る。	目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組まれており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
川南町地域公共交通会議	三和交通(株)	尾鈴線	デマンド実証運行時に利用者から要望があり、尾鈴から通浜については、定期路線とした。	A	C	今後も利用状況の把握、利用者の意見聴取を継続的に行い、必要に応じた、乗降場の設置、ダイヤ等の見直し・検討を行うとともに、利用促進に向けた取組みを行っていく。	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
川南町地域公共交通会議	三和交通(株)	通浜線	デマンド実証運行時に利用者から要望があり、尾鈴から通浜については、定期路線とした。	A	A		目標設定が低かったため利用者数が大幅に上回っているが、公共交通の利用促進に取り組まれており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
川南町地域公共交通会議	三和交通(株)	デマンド	乗降場の増設、配置換え及び地域間幹線系統へのアクセスポイントの増設を行い利用しやすい環境づくりに努めた。	A	A		公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	平野～石尾線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	A	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	長谷線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	A	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	山田～上沖線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	B	運行経路について、利用しやすい路線設定の変更を検討する。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	岩爪線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	A	一部利用の少ない地域が見られるため、路線設定及びダイヤ変更について検討を行う。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	長園線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	A	一部利用の少ない地域が見られるため、路線設定及びダイヤ変更について検討を行う。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西都市地域公共交通会議	三和交通(株)	長園通学線	運行ダイヤについて、利用しやすい時間帯への変更を検討するため、OD調査を行った。	A	B	一部利用の少ない地域が見られるため、路線設定及びダイヤ変更について検討を行う。さらにバス停の位置を地図上に示すなど、よりわかりやすいチラシを作成し、利用者への情報提供を充実させる	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	竹鳩公民館～めいりんの湯		A	B	利用者の固定化が懸念されるため、新規利用者の増加を目指し、今年度作成した公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、バスの乗り方教室や出前講座等の利用促進策を展開し、公共交通の利用を啓発する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー(株)	老瀬公民館～めいりんの湯		A	B	利用者の固定化が懸念されるため、新規利用者の増加を目指し、今年度作成した公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、バスの乗り方教室や出前講座等の利用促進策を展開し、公共交通の利用を啓発する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	蚊口浜線 (蚊口浜キャンプ場入口～めいりんの湯)	前回の事業評価結果なし	A	B	利用者の固定化が懸念されるため、新規利用者の増加を目指し、今年度作成した公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、バスの乗り方教室や出前講座等の利用促進策を展開し、公共交通の利用を啓発する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
高鍋町地域公共交通会議	宮交タクシー株式会社	堀の内団地線 (しろはと工房～めいりんの湯)	前回の事業評価結果なし	A	B	利用者の固定化が懸念されるため、新規利用者の増加を目指し、今年度作成した公共交通マップや広報等を利用して周知の強化を図る。また、バスの乗り方教室や出前講座等の利用促進策を展開し、公共交通の利用を啓発する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	東1コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	東2コース1, 2	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	西1コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	西2コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	南1コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の1%増を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	南2コース	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	北1コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の2%増を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	北2コース	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	田野羽坂線	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組みられており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	仲深坪谷越表線	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	福瀬小野田線	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の2%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	仲深坪谷線	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の5%増を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	鶴野内迫野内八重原線	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	寺迫庭田線	前回の事業評価を受け、年間利用者の対前々年比の1%増を目標とした	A	B	運行地域の高齢化や人口減少により目標を下回る見込みであったことから、平成27年1月の広報誌でPRを行った。現在、利用者は回復しつつある状況。	目標設定が低いにもかかわらず目標を達成しておらず、当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によってはシステムの変更等を行うことも検討すべき。	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	飯谷田の原線	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	A	今後も利用促進を図るために、利用ニーズ等を踏まえたダイヤや路線の見直しを検討する。	目標設定が低いためA評価としているが、公共交通の利用促進に取り組みられており十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日向市地域公共交通活性化協議会	日向市	鶴毛粗木線	前回の事業評価を受け、前々年の年間利用者と同数を目標とした	A	B	運行地域の人口減少により目標を下回る結果となったことから、広報誌で特集を行うなどのPRを行った。今後もPR等により利用促進に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都城市地域公共交通会議	(有)銀星タクシー	デマンド運行 北部～中心部	H27. 6. 15から東部系統と 統合	A	C	運行日1日当たりの利用者 数の目標を13人と設定して いたが、実際は6. 8人であり 目標に達していないため、平 成27年6月15日から東部系 統と統合した。	利用者が伸びずに東部系統 との統合を行っており、統合 後の今後を注視する。	
都城市地域公共交通会議	(有)銀星タクシー	デマンド運行 東部～中心部	H27. 6. 15から北部系統と 統合	A	C	運行日1日当たりの利用者 数の目標を4人と設定してい たが、実際は1. 6人であり 目標に達していないため、平 成27年6月15日から北部系 統と統合した。	利用者が伸びずに東部系統 との統合を行っており、統合 後の今後を注視する。	
都城市地域公共交通会議	(有)銀星タクシー	デマンド運行 南部～中心部	H27. 6. 15から運行日に 水曜日を追加	A	B	H27. 6. 15から運行日を増 やしたため、1日当たり利用 者数の数値が小さいもの なった。水曜日でも利用でき ることのPRを要する。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
都城市地域公共交通会議	(有)銀星タクシー	デマンド運行 北東部～中心部	H27. 6. 15から東部系統と 北部系統を統合して運行開 始	A	A	統合後、周知に努めたこと等 により、目標を達成できた。 利用の動向について、継続し て注視していくこととする。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株) いわさきバスネット ワーク(株)	禰答院～川内駅 (市内横断シャトル バス)	前回の評価を踏まえ周知を 行ったが、利用者は横ばい 状態である。現在、利用状況 等(利用者の声・要望等)の 調査を実施中。	A	B	昨年度まで増加傾向にあっ た利用者数が横ばい若しく は減となり、目標人数には達 しなかった。これは運賃改定 による影響もあると考えられ る。今後、バスの上手な利用 方法等を探り、住民への周 知等に努め、利用者増を 図っていききたい。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	いわさきバスネット ワーク(株)	いむた清風～川内 駅 (市内横断シャトル バス)	前回の評価を踏まえ周知を 行ったが、利用者は減となっ た。現在、利用状況等(利用 者の声・要望等)の調査を実 施中。	A	B	昨年度まで増加傾向にあっ た利用者数が横ばい若しく は減となり、目標人数には達 しなかった。これは運賃改定 による影響もあると考えられ る。今後、バスの上手な利用 方法等を探り、住民への周 知等に努め、利用者増を 図っていききたい。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (西回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ周知を 行ったが、利用者は減となっ た。現在、利用状況等(利用 者の声・要望等)の調査を実 施中。	A	A	湯田・西方循環線は目標達 成できたが、城上・吉川循環 線は目標にとどかなかった。 前年度と比べるとどちらも横 ばい若しくは減となっており、 やはり運賃改定の影響もあ ると考えられる。今後は、利 用状況に応じた運行ダイヤ や分かりやすい時刻表等の 作成を検討し、利用者増を 図っていききたい。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	湯田・西方循環線 (東回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ周知を 行ったが、利用者は減となっ た。現在、利用状況等(利用 者の声・要望等)の調査を実 施中。	A	A	湯田・西方循環線は目標達 成できたが、城上・吉川循環 線は目標にとどかなかった。 前年度と比べるとどちらも横 ばい若しくは減となっており、 やはり運賃改定の影響もあ ると考えられる。今後は、利 用状況に応じた運行ダイヤ や分かりやすい時刻表等の 作成を検討し、利用者増を 図っていききたい。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者数が目標を 達成したことは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (西回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ周知を行なったが、利用者は減となった。現在、利用状況等(利用者の声・要望等)の調査を実施中。	A	B	湯田・西方循環線は目標達成できたが、城上・吉川循環線は目標にとどかなかった。前年度と比べるとどちらも横ばい若しくは減となっており、やはり運賃改定の影響もあると考えられる。今後は、利用状況に応じた運行ダイヤや分かりやすい時刻表等の作成を検討し、利用者増を図っていききたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	城上・吉川循環線 (東回り) (北部循環バス)	前回の評価を踏まえ周知を行なったが、利用者は横ばい状態である。現在、利用状況等(利用者の声・要望等)の調査を実施中。	A	B		丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港 ターミナル(国道回 り) (川内港シャトルバ ス)	前回の評価を踏まえ周知等を行なったが、利用者は減となった。現在、利用状況等(利用者の声・要望等)の調査を実施中。	A	B	川内港ターミナルから発着する高速船への接続も兼ねているバスであり、高速船利用者(観光客等)数に影響される面も否めない。高速船の利用者は増加傾向にあるため、今後は運賃改定の影響もあると考えられる高速船利用者以外の利用者(地域住民等)へのよりいっそうの周知に努め、利用者増を図っていききたい。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
薩摩川内市地域 公共交通活性化 協議会	南国交通(株)	川内駅～川内港 ターミナル(県道回 り) (川内港シャトルバ ス)	前回の評価を踏まえ周知等 をおこなったが、利用者は減 となった。現在、利用状況等 (利用者の声・要望等)の調 査を実施中。	A	B	川内港ターミナルから発着す る高速船への接続も兼ねて いるバスであり、高速船利用 者(観光客等)数に影響され る面も否めない。高速船の利 用者は増加傾向にあるた め、今後は運賃改定の影響 もあると考えられる高速船利 用者以外の利用者(地域住 民等)へのよりいっそうの周 知に努め、利用者増を図って いきたい。	丁寧かつ効果的な周知や広 報活動と併せて、利用者数 等のデータ分析や利用者の 声・要望等の精査を行い、効 率的な運送サービスの提供 を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	竹子三縄線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	麓線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	空港崎森線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	竹子・有川・空港線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によってはシステムの変更等を行うことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	南国交通(株)	崎森・麓・空港線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	A	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②公共交通マップの作成</p> <p>③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供等</p>	利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
霧島市地域公共交通会議	いわさきバスネットワーク株式会社	霧島牧園線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用</p> <p>②公共交通マップの作成</p> <p>③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	福沢線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	福地・池之谷線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	福山線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	比曾木野線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	佳例川線	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	福地線(スクール対応)	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	当該システムの必要性について慎重に見極め、場合によっては系統の変更等を行うことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	三州自動車株式会社	福沢線(スクール対応)	<p>①バス車内に「意見箱」を設置し、利用者ニーズ、改善要望等の把握に努めた。</p> <p>②OD調査(バス利用者の乗車バス停及び乗降バス停の把握)を実施した。</p> <p>③路線ごとの収支率、1便当たりの乗降客数を把握した。</p>	A	A	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
霧島市地域公共交通会議	AT交通株式会社	霧島地区永水地域におけるデマンド交通の運行	当該地域住民へのアンケート調査を実施し、ニーズ(行先・時間帯)を把握した。	A	B	<p>●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。</p> <p>●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。</p> <p>●地域公共交通の利用促進対策を講じる。</p> <p>①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等</p>	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
霧島市地域公共交通会議	有限会社中村タクシー	溝辺地区有川地域におけるデマンド交通の運行	当該地域住民へのアンケート調査を実施し、ニーズ(行先・時間帯)を把握した。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度中に策定する霧島市地域公共交通網形成計画に基づき、ふれあいバスにおけるサービス見直しに向けたガイドラインを策定するとともに、目標達成に向けたマネジメントの強化を図る。 ●運行ルートの見直しや路線バスとの乗継の利便性の向上を図る。 ●地域公共交通の利用促進対策を講じる。 ①公共交通啓発チラシや広報誌等の活用 ②公共交通マップの作成 ③交通結節点における分かりやすい案内表示や情報提供 等	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	谷山地域 あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・運行時間別等の利用者数を分析の上、地域公共交通会議において協議しながら、運行計画の見直しの考え方を整理することとしている。 ・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、需要に応じた運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。 	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
鹿児島市地域公共交通会議	鹿児島交通(株)	喜入地域 あいばすの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・運行時間別等の利用者数を分析の上、地域公共交通会議において協議しながら、運行計画の見直しの考え方を整理することとしている。 ・市ホームページ等により、引き続き、運行ルートやダイヤ等についての周知広報を行っている。 ・地域の利用者からの要望に基づき、更なる利便性向上のため、商業施設の敷地内にバス停を新設した。(27年10月1日新設) 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者の意見や要望を聞きながら、今後も利便性の高い運行計画づくりに努める。 ・潜在的な利用者の掘り起こしのため、分かりやすい情報提供や案内表示の工夫に努める。 	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者数が目標を達成したことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	平山線 浜田～河内温泉 の運行	前回は4.1人/日だったが、3.7人/日と0.4人/日減少している。町広報紙を利用し、活用について促した。	A	C	目標達成に向けて、各施設のダイヤ掲示を整備し、利用促進を図っている。今後も利用者の声を聞き、効率的な運行サービスができるよう連携を図る	広報・啓発活動は、認知が広がっていない場合に効果を発揮するものであるから、地域住民の認知度合いをまず把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株) 茎永線	茎永線 Aコープ前～河内温泉 の運行	前回は10.1人/日で今回が10.1人/日と横ばいである。高齢者の利用率が非常に高い。町広報紙を利用し、活用について促した。	A	A	目標達成に向けて、各施設のダイヤ掲示を整備し、利用促進を図っている。今後も利用者の声を聞き、効率的な運行サービスができるよう連携を図る	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	西之線 役場～河内温泉 の運行	前回は6.8人/日だったが7.1人/日と0.3人/日伸びている。一般客・高齢者ともに多く利用している。町広報紙を利用し、活用について促した。	A	B	目標達成に向けて、各施設のダイヤ掲示を整備し、利用促進を図っている。今後も利用者の声を聞き、効率的な運行サービスができるよう連携を図る	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南種子町地域公共交通活性化再生協議会	種子島・屋久島交通(株)	島間線 牛野～河内温泉 の運行	前回は8.3人/日だったが、10.1人/日と1.8人/日伸びている。高齢者の利用率が非常に高い。町広報紙を利用し、活用について促した。	A	A	目標達成に向けて、各施設のダイヤ掲示を整備し、利用促進を図っている。今後も利用者の声を聞き、効率的な運行サービスができるよう連携を図る	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	穎娃～霜出～川辺 の運行	平成27年4月から早朝の追加便を運行し、利用者増となった。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 拠点間バス	番所鼻公園～霜出～知覧の運行	バス停(松山南)新設により利用者増となった。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	瀬戸山～下里～文化会館の運行	バス停(中服良)新設とルート変更により利用者増となった。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 (26.10-27.03) 宇都自動車商会 (27.04-27.09) 生活交通バス	滝の前～野崎公民館～文化会館の運行	橋梁重量制限による車両変更に伴い、事業者を変更。実車の上、利用者から要望の聞き取りを実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	屋敷平～本別府大久保～文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	利用者が多いため、増便を検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	田の頭～勝目西～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	君野西～大山入口～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	打木谷～上之口～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	市街地周回線 文化会館～病院前～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	栢川三叉路～市役所～ 保健センターの運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	鹿児島交通株式会社 生活交通バス	加治佐～保健センター～ 知覧の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	市崎野～横手町～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画を見直す。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。 また、利用者の数だけでなく、その質の把握が肝要である。本来、取り込めた需要を取りこぼしていないか慎重に把握することが望ましい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	山添～平山六丁～ 文化会館の運行	運行回数変更の結果、運行効率が向上した。 実車の上、利用者から要望の聞き取りを実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	西の原～高田下～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	火之河原～中服良～ 文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	松王城橋～野間里 ～文化会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	荒田～越原～文化 会館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。また、利用者の数だけでなく、その質の把握が肝要である。本来、取り込めた需要を取りこぼしていないか慎重に把握することが望ましい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	川原～宮～文化会 館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	木床～上郡上～保 健センターの運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。また、利用者の数だけでなく、その質の把握が肝要である。本来、取り込めた需要を取りこぼしていないか慎重に把握することが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	寺園～河上～保健 センターの運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	小金園～打越～保健 センターの運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。また、利用者の数だけでなく、その質の把握が肝要である。本来、取り込めた需要を取りこぼしていないか慎重に把握することが望ましい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	峯苔～平久保～知 覧の運行	運行ルート及び運行回数変更の結果、運行効率が向上した。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	二ツ谷～堤之原～ 知覧の運行	運行回数変更の結果、運行効率が向上した。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。また、利用者の数だけでなく、その質の把握が肝要である。本来、取り込めた需要を取りこぼしていないか慎重に把握することが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	高星～林川～知覧 の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	高吉～中福良～知覧 の運行	運行ルート変更の結果、運行効率が向上した。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	大隣南～松久保～霜 上げんき館の運行	運行回数変更の結果、運行効率が向上した。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	竹迫北～立山～霜 上げんき館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)宇都自動車商会 生活交通バス	中渡瀬～上木原～松 山の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通 生活交通バス	浦芝原～麓南～穎 娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	佃～奥園～顕娃図 図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	矢越～御領山下～ 顕娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	蓮子～水成川～顕 娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	青戸農村公園～福 留～顕娃図書館の 運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま 交通 生活交通バス	加治佐～小原～顕 娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	曲谷～赤崎～穎娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	種子尾～一氏～穎娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	永谷～粟ヶ窪～アグリ温泉の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	加治佐～耳原～別府温泉の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(株)南九州あづま交通生活交通バス	青戸農村公園～石垣～別府温泉の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	長崎～前原～穎娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	永谷～春向～穎娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	沿線人口の自然減を考慮し、運行計画見直しを検討する。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	下出～木之元～穎娃図書館の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	熊ヶ谷～栢山～穎娃図書館の運行	運行ルート及び運行回数を変更(他系統と統合)した結果、運行効率及び利便性が向上し、利用者が増加した。	A	A	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	上淵～雪丸～アグリ温泉の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南九州市地域公共交通協議会	(有)池田観光生活交通バス	曲谷～新牧～アグリ温泉の運行	老人会等で周知広報を実施。	A	B	新たな利用者を開拓するため、引き続き地域自治会、老人会で周知広報を行う。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北西ルート(市成～歌丸～百引)の運行	利用者ヒアリングや乗降調査、これまでの利用データを基に、ルート変更やダイヤ見直し等の検討を行い、利便性向上に努めた。(H27年度計画反映)	A	A	・現在では利用がみられない運行区間(集落)もあるので、高齢者をターゲットにした分かりやすい時刻表(チラシ)を作成し、沿線地域住民に配布し利用促進を図るとともに、地域ヒアリング調査を基に運行ルート等の見直しを検討していく。 (中央ルートについては、H27.10月から利用実態に即した運行へ見直しを行っている。)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北東ルート(有村～平房～百引)の運行	利用者ヒアリングや乗降調査、これまでの利用データを基に、ルート変更やダイヤ見直し等の検討を行い、利便性向上に努めた。(H27年度計画反映)	A	A	・現在では利用がみられない運行区間(集落)もあるので、高齢者をターゲットにした分かりやすい時刻表(チラシ)を作成し、沿線地域住民に配布し利用促進を図るとともに、地域ヒアリング調査を基に運行ルート等の見直しを検討していく。 (中央ルートについては、H27.10月から利用実態に即した運行へ見直しを行っている。)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	輝北中央ルート(百引～福祉センター～百引)の運行	利用者ヒアリングや乗降調査、これまでの利用データを基に、ルート変更やダイヤ見直し等の検討を行い、利便性向上に努めた。(H27年度計画反映)	A	B	・現在では利用がみられない運行区間(集落)もあるので、高齢者をターゲットにした分かりやすい時刻表(チラシ)を作成し、沿線地域住民に配布し利用促進を図るとともに、地域ヒアリング調査を基に運行ルート等の見直しを検討していく。 (中央ルートについては、H27.10月から利用実態に即した運行へ見直しを行っている。)	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	吾平東ルート(吾平支所前～神野～吾平支所前)の運行	利用者ヒアリングや乗降調査等を実施したが、具体的な運行見直しの検討には至っていない。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運行所要時間が約1時間の片回りルートでの運行であるため、利用実態や地域ヒアリング調査を基に吾平地域全体での再編を検討していく。 ・高齢者をターゲットにした分かりやすい時刻表(チラシ)を作成し、沿線地域住民に配布し利用促進を図る。 	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	吾平西ルート(吾平支所前～真戸原～吾平支所前)の運行	利用者ヒアリングや乗降調査等を実施したが、具体的な運行見直しの検討には至っていない。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運行所要時間が約1時間の片回りルートでの運行であるため、利用実態や地域ヒアリング調査を基に吾平地域全体での再編を検討していく。 ・高齢者をターゲットにした分かりやすい時刻表(チラシ)を作成し、沿線地域住民に配布し利用促進を図る。 	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合によっては系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿屋市地域公共交通活性化協議会	三州自動車(株)	市街地巡回バス(鹿屋～西原・市役所・寿～鹿屋)の運行	交通結節点である「鹿屋バス停」の整備完了に伴い、路線バスとの乗り継ぎ及び待合環境の充実が図られた。また、待合所や広報誌での情報提供を行い利用促進に努めた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに便利で効率的な運行にするため、継続的に利用実態調査を実施する。 ・沿線の主要施設へチラシを設置し情報発信を行うなど、利用促進に努める。 	公共交通の利用促進に取り組まれ、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
垂水市地域公共交通活性化協議会	協和タクシー	事前予約型乗合タクシー運行 (市木地区～中央地区)	乗合タクシーの紹介を兼ねたアンケート調査を、運行ルート上の地域住民全世帯を対象に実施し、制度周知を図った。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	有限会社オダ	事前予約型乗合タクシー運行 (大野地区～中央地区)	乗合タクシーの紹介を兼ねたアンケート調査を、運行ルート上の地域住民全世帯を対象に実施し、制度周知を図った。	A	B	人口の社会減等を考慮し、運行区域の人口に見合った利用実績を目指し、引き続き、利用者の満足度向上に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通株式会社	事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区～中央地区) ※内ノ野ルート	乗合タクシーの紹介を兼ねたアンケート調査を、運行ルート上の地域住民全世帯を対象に実施し、制度周知を図った。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
垂水市地域公共交通活性化協議会	南海交通株式会社	事前予約型乗合タクシー運行 (水之上地区～中央地区) ※小谷ルート	乗合タクシーの紹介を兼ねたアンケート調査を、運行ルート上の地域住民全世帯を対象に実施し、制度周知を図った。	A	A	利用者数の更なる増加を図るため、引き続き、乗合タクシー制度等の周知を行うとともに、利用者の満足度向上に努める。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(空港線)	知名～空港の運航	期間限定の統一運賃や乗継割り引きサービスの導入	A	A	運行ダイヤの改正及び地域内統一運賃の導入の検討。	公共交通の利便性向上に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。 ただし、運行系統ごとに経常収支率を正確に把握することは困難であり、外的要因に左右されることを留意の上、利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(知名・国頭線)	知名～国頭の運航	期間限定の統一運賃や乗継割り引きサービスの導入	A	A	運行ダイヤの改正及び地域内統一運賃の導入の検討。	公共交通の利便性向上に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。 ただし、運行系統ごとに経常収支率を正確に把握することは困難であり、外的要因に左右されることを留意の上、利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(永嶺線)	知名～永嶺～和泊の運航	期間限定の統一運賃や乗継割り引きサービスの導入	A	A	運行ダイヤの改正及び地域内統一運賃の導入の検討。	公共交通の利便性向上に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(後蘭線)	知名～後蘭～和泊の運航	期間限定の統一運賃や乗継割り引きサービスの導入	A	A	運行ダイヤの改正及び地域内統一運賃の導入の検討。	公共交通の利便性向上に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
沖永良部地域公共交通活性化協議会	沖永良部バス企業団(ガジマル線)	知名～下平川～和泊の運航	期間限定の統一運賃や乗継割り引きサービスの導入	A	B	運行ダイヤの改正及び地域内統一運賃の導入の検討。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 川西	曾木バス停～川西 地区の運行	「現在の利用状況を維持する。」であり、実施された。	A	A	現在の利用状況を維持する。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 西山	針持バス停～西山 地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 高塚	針持バス停～高塚 地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 田原	針持バス停～田原 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	A	現在の利用状況を維持す る。	引き続き利用者ニーズを把 握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定し ていただきたい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 荒田	菱刈中心地～荒田 地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、利用 しやすい公共交通機関とな るよう、自治体・交通事業者・ 地域住民の役割分担を明確 化しつつ、地域一体として、 さらなる利用促進の組み 組みを実施されることが望ま しい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 永池楠原	菱刈中心地～永池 楠原地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	A	現在の利用状況を維持す る。	引き続き利用者ニーズを把 握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定し ていただきたい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 野池小川添	菱刈中心地～野池 小川添地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、利用 しやすい公共交通機関とな るよう、自治体・交通事業者・ 地域住民の役割分担を明確 化しつつ、地域一体として、 さらなる利用促進の組み 組みを実施されることが望ま しい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 田中重留	菱刈中心地～田中 重留地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、利用 しやすい公共交通機関とな るよう、自治体・交通事業者・ 地域住民の役割分担を明確 化しつつ、地域一体として、 さらなる利用促進の組み 組みを実施されることが望ま しい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	(有)下小菌タクシー 市山花北	菱刈中心地～市山 花北地区の運行	「利用登録者に利用方法の 確認等利用促進」のため書 面によるお知らせや民生委 員説明会を実施	A	A	現在の利用状況を維持す る。 利用登録者に利用方法の確 認等利用促進に努める。	引き続き利用者ニーズを把 握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定し ていただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)湯之尾	菱刈中心地～湯之尾地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	A	現在の利用状況を維持する。 利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)山田徳辺	菱刈中心地～山田徳辺地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)五色徳辺下	菱刈中心地～五色徳辺下地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)下手	菱刈中心地～下手地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、利用しやすい公共交通機関となるよう、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として、さらなる利用促進の取り組みを実施されることが望ましい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)布計	山野中心地～布計地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	B	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)小川内	山野中心地～小川内地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	伊佐交通観光(株)平出水	山野中心地～平出水地区の運行	「利用登録者に利用方法の確認等利用促進」のため書面によるお知らせや民生委員説明会を実施	A	C	利用登録者に利用方法の確認等利用促進に努める。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
伊佐市地域公共交通活性化協議会	南国交通(株)青木循環線	大口中心地～青木篠原地区循環運行	経路の変更などを進めているが実施までには至らなかった。利用者が微減	A	B	経路の変更など利便性の向上を行い利用促進に努める。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、場合には系統の運行計画の変更等を含めて検討を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	神子線(乗合タクシー) 大野酒店前～鶴田支所の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、路線の統合・ダイヤ改正を行った。	A	B	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	鶴田線(乗合タクシー) 上場公民館前～鶴田支所の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、路線の統合・ダイヤ改正を行った。	A	B	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	上狩宿・熊田線(乗合タクシー) 株の谷入り口～さつまクリニック前の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議しダイヤ改正を行った。	A	B	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	湯田・佐志線(乗合タクシー) 湯田～旧宮之城駅の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、路線の統合・ダイヤ改正を行った。	A	B	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)神園タクシー	登尾線(乗合タクシー) 登尾～旧宮之城駅の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議しダイヤ改正を行った。	A	A	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)神園タクシー	柘野・紫尾線 市野～旧宮之城駅の運行	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議しダイヤ改正を行った。	A	B	利用実績や利用者の要望を踏まえ運行業者と協議し、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(有)鶴田タクシー	さつますこやか線 金山コース(コミュニティーバス) さつまクリニック前～さつまクリニック前の運行	ダイヤ改正に伴う利用実績の積み上げを行い利用者の要望、運行事業者との協議を行った。	A	B	大幅な利用増は見込めないが、今後も利用者の要望や運行事業者と協議を重ね、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
さつま町地域公共交通活性化協議会	(株)宮都タクシー	さつますこやか線 段・薬師コース(コミュニティーバス) さつまクリニック前～さつまクリニック前の運行	ダイヤ改正に伴う利用実績の積み上げを行い利用者の要望、運行事業者との協議を行った。	A	B	大幅な利用増は見込めないが、今後も利用者の要望や運行事業者と協議を重ね、よりよい交通網の構築に努める。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表市公共交通活性化協議会	はやしタクシー(柳原線)	伊関～市内～西之表港	・運休日である日曜日の試験的運行(鉄砲まつり・市民体育祭) ・午後便の運行時間の変更	A	B	利用状況のデータ分析と利用者の意向調査による運行ルートや時間の再検討。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
西之表市公共交通活性化協議会	はやしタクシー(立山線)	立山～市内～西之表港	・運休日である日曜日の試験的運行(鉄砲まつり・市民体育祭) ・午後便の運行時間の変更	A	B	利用状況のデータ分析と利用者の意向調査による運行ルートや時間の再検討。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
西之表市公共交通活性化協議会	はやしタクシー(古田線)	中割～市内～西之表港	・運休日である日曜日の試験的運行(鉄砲まつり・市民体育祭) ・午後便の運行時間の変更	A	B	利用状況のデータ分析と利用者の意向調査による運行ルートや時間の再検討。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
西之表市公共交通活性化協議会	市丸タクシー(国上線)	国上～市内～西之表港	・運休日である日曜日の試験的運行(鉄砲まつり・市民体育祭) ・午後便の運行時間の変更	A	A	利用状況のデータ分析と利用者の意向調査による運行ルートや時間の再検討。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
西之表市公共交通活性化協議会	種子島・屋久島交通(株)(市街地巡回バス)	西之表港～市役所・松島～西之表港	バス停新設・移設及び運行時刻表の変更	A	A	利用状況のデータ分析と利用者の意向調査による運行ルートや時間の再検討。	引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー 多田・桑原城系統	丸内～市役所間の 区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	阿久根タクシー 西目・遠見ヶ岡・倉津系統	落～市民病院間の 区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー 脇本北部系統	八郷～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	A	今後とも利用者への情報提供を充実させる。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー 脇本西部系統	深田～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	C	市広報はもちろんのこと。様々な広報媒体も使い利用者への情報提供を充実させる。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取り組みを行うことも重要であり、自治体・交通事業者・地域住民の役割分担を明確化しつつ、地域一体として公共交通の維持改善のための利用促進を実施されることが望ましい。	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー 脇本東部(瀬之浦)系統	大淵川～脇本地区公民館間の区域内運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	B	市広報はもちろんのこと。様々な広報媒体も使い利用者への情報提供を充実させる。	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
阿久根市地域公共交通確保維持改善協議会	石澤タクシー 脇本東部(桐野)系統	桐野上～脇本地区 公民館間の区域内 運行	制度の周知を図るため、広報誌掲載を行った。また、さわやか連合クラブや民生委員等の総会時に出向き周知を図った。	A	B	市広報はもちろんのこと。様々な広報媒体も使い利用者への情報提供を充実させる。	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地 域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 川上線の運行	前回の目標が前年比120% の利用者と高すぎたことか ら、前年比100%以上へと変 更。	A	A	利用者数も徐々に伸びて きている。利用のさらなる 実態の把握に努め、引き 続き路線のPRを行う。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者が増加傾向 にあることは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	
いちき串木野市地 域公共交通会議	第一交通(株)	いきいきタクシー 大里線の運行	前回の目標が前年比120% の利用者と高すぎたことか ら、前年比100%以上へと変 更。	A	A	利用者数も徐々に伸びて きている。利用のさらなる 実態の把握に努め、引き 続き路線のPRを行う。	公共交通の利用促進に取り 組まれ、利用者が増加傾向 にあることは十分評価でき る。引き続き利用者ニーズを 把握し運行データを精査のう え、次年度の目標を設定して いただきたい。	
いちき串木野市地 域公共交通会議	いわさきバスネッ トワーク(株)	いきいきバス 冠岳線の運行	前回の目標が前年比120% の利用者と高すぎたことか ら、前年比100%以上へと変 更。	A	C	利用者数が減少傾向にあ る原因を把握し、利用のさ らなる実態の把握に努 め、引き続き路線のPRを 行う。	広報・啓発活動は、まず 地域住民の認知度合いを 把握されることが望まし い。その結果を踏まえ、利 用者の視点に立ち、公共 交通機関を利用するよう になるという生活習慣の 変化を促すような情報を 精査の上で提供されるこ とが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
いちき串木野市地 域公共交通会議	いわさきバスネッ トワーク(株)	いきいきバス 芹ヶ野線(デマン ド型)の運行 ※	前回の目標が前年比120% の利用者と高すぎたことか ら、前年比100%以上へと変 更。	A	C	利用者数が減少傾向にあ る原因を把握し、利用のさ らなる実態の把握に努 め、引き続き路線のPRを 行う。	利用者の数だけでなく、そ の質の把握が肝要。本 来、取り込めた需要を取り こぼしていないか慎重に 把握することが望ましい。 そのため、信頼できる データ、アンケート結果の ほかに現場をよく観られる ことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	辺塚～岸良～内之浦市街地	内之浦市街地において乗降場所を廃止し利便性の向上を行った。	A	C		広報・啓発活動は、まず地域住民の認知度合いを把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	海蔵～内之浦市街地	内之浦市街地において乗降場所を廃止し利便性の向上を行った。	A	A	年間利用目標を大きく下回る数値となった。広報紙・ポスター等で周知を図ったが、十分なものでなかったと反省している。 今後は、多くの方が利用する施設等へのポスター掲示等を行い、交通不便者に役立つよう事業の周知を行い、利用者増を図っていく。	公共交通の利用促進に取り組み、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	海蔵～内之浦市街地	内之浦市街地において乗降場所を廃止し利便性の向上を行った。	A	C		広報・啓発活動は、まず地域住民の認知度合いを把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
肝付町地域公共交通会議	株式会社 銀河タクシー	津代～内之浦市街地	内之浦市街地において乗降場所を廃止し利便性の向上を行った。	A	C	年間利用目標を大きく下回る数値となった。広報紙・ポスター等で周知を図ったが、十分なものでなかったと反省している。	広報・啓発活動は、まず地域住民の認知度合いを把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
肝付町地域公共交通会議	有限会社 鶴丸タクシー 有限会社 立石タクシー	岸良～高山	市街地の乗降場所として、新たに役場前を設定し利便性の向上を行った。	A	A	今後は、多くの方が利用する施設等へのポスター掲示等を行い、交通不便者に役立つよう事業の周知を行い、利用者増を図っていく。	公共交通の利用促進に取り組まれ、目標を達成されたことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上神殿線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	中川・郡線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	竹之山・土橋線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	上・下方限線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	恋之原線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー ひまわり交通(株) (有)伊集院タクシー	久木野々線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	平鹿倉・湯之元線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	日添・田之尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	和田線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	藤元・野首線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
日置市地域公共交通会議	(有)内田タクシー (有)湯の浦タクシー	坊野・田尻線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付	A	A	今後も広報誌等による啓発を図り、更なる利用増に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者が増加傾向にあることは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日新線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 自治会毎の利用方法説明会 ・自治会の催しに合わせて利用 方法周知	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	日置線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 自治会毎の利用方法説明会 ・自治会の催しに合わせて利用 方法周知	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	吉利線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 自治会毎の利用方法説明会 ・自治会の催しに合わせて利用 方法周知	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	扇尾線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 自治会毎の利用方法説明会 ・自治会の催しに合わせて利用 方法周知	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
日置市地域公共交通会議	(有)吉村タクシー	住吉線	市文書発送による情報提供 ・運行内容(チラシ)を全世帯配付 自治会毎の利用方法説明会 ・自治会の催しに合わせて利用 方法周知	A	B	広報誌等による啓発を図り、利用増に努める。また、地域住民が集まる機会に合わせて、意見等を聴取し、ニーズを反映した便利で効率的な乗合タクシーをめざす。	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	中尾洋三	秋目～大浦市街地の運行	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	C	利用人口が少ない地域であるため、適正な利用者数を見込むとともに、運行形態について検討する。	利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促す取組みを精査の上、役割分担を明確化しつつ地域一体として実施されることが望ましい。	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)森田タクシー	内山田から加世田市街地の運行	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A	広報誌など、コミュニティバス等の現状を伝えるとともに、集落単位での懇談会を開催するなど、利用者ニーズの把握に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南さつま市地域公共交通協議会	南海交通(株)	白川・大田・阿多・大坂から金峰市街地の運行	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A	広報誌など、コミュニティバス等の現状を伝えるとともに、集落単位での懇談会を開催するなど、利用者ニーズの把握に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	坊津から加世田市街地の運行	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	A	広報誌など、コミュニティバス等の現状を伝えるとともに、集落単位での懇談会を開催するなど、利用者ニーズの把握に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	いなほ館から加世田市街地の運行	広報誌を通じて、コミュニティバスの現状や利便性を伝えるなど、利用の普及を図った	A	B	運行地域及び時刻に係る運行全般を見直し、生活習慣に即した運行形態を検討する	丁寧かつ効果的な周知や広報活動と併せて、利用者数等のデータ分析や利用者の声・要望等の精査を行い、効率的な運送サービスの提供を行う必要がある。	
南さつま市地域公共交通協議会	(株)鹿児島交通	大木場から加世田市街地の運行	平成27年度(H26年12月～)運行開始	A	A	広報誌など、コミュニティバス等の現状を伝えるとともに、集落単位での懇談会を開催するなど、利用者ニーズの把握に努める。	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～市街地～田上診療所の運行	前回の評価同様に下り便2便目の利用者が極端に少なかった。	A	B	昨年度同様に下り2便目の利用者が少なかったため、減便を行った。(平成27年10月から減便)	公共交通の利用促進に取り組み、概ね目標を達成されたことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	上牧川～上宝来～市街地～田上診療所の運行	前回の評価同様に下り便2便目の利用者が極端に少なかった。	A	A	昨年度同様に下り2便目の利用者が少なかったため、減便を行った。(平成27年10月から減便)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは十分評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	浜津脇入口～増田～市街地～田上診療所の運行	前回の評価同様に下り便2便目の利用者が極端に少なかった。	A	A	昨年度同様に下り2便目の利用者が少なかったため、減便を行った。(平成27年10月から減便)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	今熊野～坂井～油久～市街地～田上診療所	前回の評価同様に下り便2便目の利用者が極端に少なかった。	A	A	昨年度同様に下り2便目の利用者が少なかったため、減便を行った。(平成27年10月から減便)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(有)大和	長谷～原尾～岩岡～市街地～田上診療所	前回の評価同様に下り便2便目の利用者が極端に少なかった。	A	A	昨年度同様に下り2便目の利用者が少なかったため、減便を行った。(平成27年10月から減便)	公共交通の利用促進に取り組み、利用者数が目標を達成したことは評価できる。引き続き利用者ニーズを把握し運行データを精査のうえ、次年度の目標を設定していただきたい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	油久・南界地域～公立種子島病院の運行	前回の評価で見直しが必要のことであったが、引き続き昨年と同じ便数・ダイヤで運行。	A	D	平成27年10月から下り便の増便を行ったが、引き続き、病院での診療時間等を勘案して増便やダイヤの変更を検討する必要がある。	利用者の目的地となる施設、乗り継ぎ先の交通機関等との連携など、利用者の利便性の向上を図る取組みを、当該路線の関係者を超えて実施していくことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	岩岡・南界地域～公立種子島病院の運行	前回の評価で見直しが必要のことであったが、引き続き昨年と同じ便数・ダイヤで運行。	A	D	平成27年10月から下り便の増便を行ったが、引き続き、病院での診療時間等を勘案して増便やダイヤの変更を検討する必要がある。	利用者の目的地となる施設、乗り継ぎ先の交通機関等との連携など、利用者の利便性の向上を図る取組みを、当該路線の関係者を超えて実施していくことが望ましい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	三浜地区(大牟礼・伊原・下田・阿保)～市街地の運行	デマンドタクシー事業の周知を行った。便数・ダイヤについては昨年度と同じ内容で行った。	A	C	平成27年10月から下り便の増便を行った。利用者増加のため、周知徹底に努める必要がある。	広報・啓発活動は、まず地域住民の認知度合いを把握されることが望ましい。その結果を踏まえ、利用者の視点に立ち、公共交通機関を利用するようになるという生活習慣の変化を促すような情報を精査の上で提供されることが望ましい。	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	秋佐野・向井町・戸畑～市街地の運行	増便はせず、昨年度と同様の便数・ダイヤで運行を実施。	A	B	平成27年10月から下り便の増便を行った。引き続き、周知の徹底、増便を検討する必要がある。	現在の運行計画が利用者ニーズに対応しているかについて検証を行い、より多くの利用者ニーズに適切に対応することで、公共交通の確保維持を図っていくことが肝要である。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
中種子町地域公共交通確保維持改善協議会	(株)市丸タクシー	女洲・竹屋野～市街地の運行	事業の見直しを検討を行ったが、この期間での変更はしなかった。また、チラシ配布等で引き続き周知を行った。	A	D	平成27年10月から利用地域の拡大を行った。引き続き、周知の徹底に努める必要がある。	チラシの配付等の取組みがみられるが、配ったままでは好ましくない。民生委員の呼びかけなど双方向でのきめ細かい配慮が行われることが望ましい。	